

2018 年度

『授業改善のための学生アンケート調査』
の結果および評価報告書
(後期)

北海商科大学

目 次

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について	1
1. 授業アンケート調査実施の趣旨	1
2. 調査の実施方法	1
3. アンケート回収結果	1
4. アンケート調査票	2
5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について	4
II. 集計結果について	7
1. 全科目の単純集計結果について	7
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について	10

I. 授業改善のための学生アンケート調査の実施について

1. 授業アンケート調査実施の趣旨

大学教育の質的向上を図るため日常的に教育活動の点検・評価を実施し、その成果と到達点を検証して改善に努めることは、こんにちあらゆる大学にかせられた社会的責任となっています。本学でもそうした社会的要請に応えるべく教育方法改善委員会のもとで2009年度～2017年度に引き続き、開講されている全授業科目を対象にアンケート調査を実施しました。

この調査の目的は、各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。このたび2017年度後期開講科目に関する調査結果がまとまりましたので、ここに報告致します。

2. 調査の実施方法

- (1) 調査方法：調査票アンケート用紙を配付・回収
- (2) 調査期間：2018年度 後期 11月第5週（11月26日～12月1日）
- (3) 調査対象：後期開講全科目・全学年の授業（専任・非常勤を含むすべての授業）
- (4) 調査内容・形式：全科目カテゴリー共通の調査票でアンケートを実施。学生の講義選択動機、受講姿勢、授業評価などに関する「選択式質問20項目」と「自由記述欄3項目」で回答を得る。

3. アンケート回収結果

アンケート回収結果は、表1、表2の通りです。なお、表1の「(C)実施率」が100%を下回るのは、「当該開講科目の履修者がいなかった」「アンケート実施日に欠席した」などの理由によります。

表1 授業アンケート実施状況

授業科目カテゴリー	(A)対象科目数	(B)実施科目数	(C)実施率(B/A)	(D)対象科目受講者数	(E)実施科目回答者数	(F)回答率(E/D)
(1)語学	8	8	100.0%	155	134	86.5%
(2)社会と文化	25	24	96.0%	1,336	958	71.7%
(3-1)専門基礎講義科目	6	6	100.0%	468	328	70.1%
(3-2)専門基礎実習科目	8	8	100.0%	229	172	75.1%
(4)専門関連科目	29	28	96.6%	863	518	60.0%
(5)商学科専門科目	43	41	95.3%	1,337	793	59.3%
(6)観光産業学科専門科目	25	25	100.0%	563	404	71.8%
(7)専門キャリアアップ科目	14	13	92.9%	231	170	73.6%
(8)教職に関する科目	9	9	100.0%	85	80	94.1%
(9)留学生プログラム	5	5	100.0%	40	33	82.5%
合計	172	167	97.1%	5,307	3,590	67.6%

表2 授業科目カテゴリー別学年別回答者数内訳

授業科目カテゴリー	1年	2年	3年	4年	留学生	無回答	合計
(1)語学	81	44	7	1		1	134
(2)社会と文化	867	8	20	7	9	47	958
(3-1)専門基礎講義科目		303	6	1	6	12	328
(3-2)専門基礎実習科目		157	3	1	2	9	172
(4)専門関連科目		169	263	66	8	12	518
(5)商学科専門科目		328	429	13	3	20	793
(6)観光産業学科専門科目		196	180	18	5	5	404
(7)専門キャリアアップ科目		67	90	12		1	170
(8)教職に関する科目	11	22	19	28			80
(9)留学生プログラム					33		33
合計	959	1,294	1,017	147	66	107	3,590

授業コード 科目名

Q 2 1 この授業でとくに良かった点は何ですか。

--

Q 2 2 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

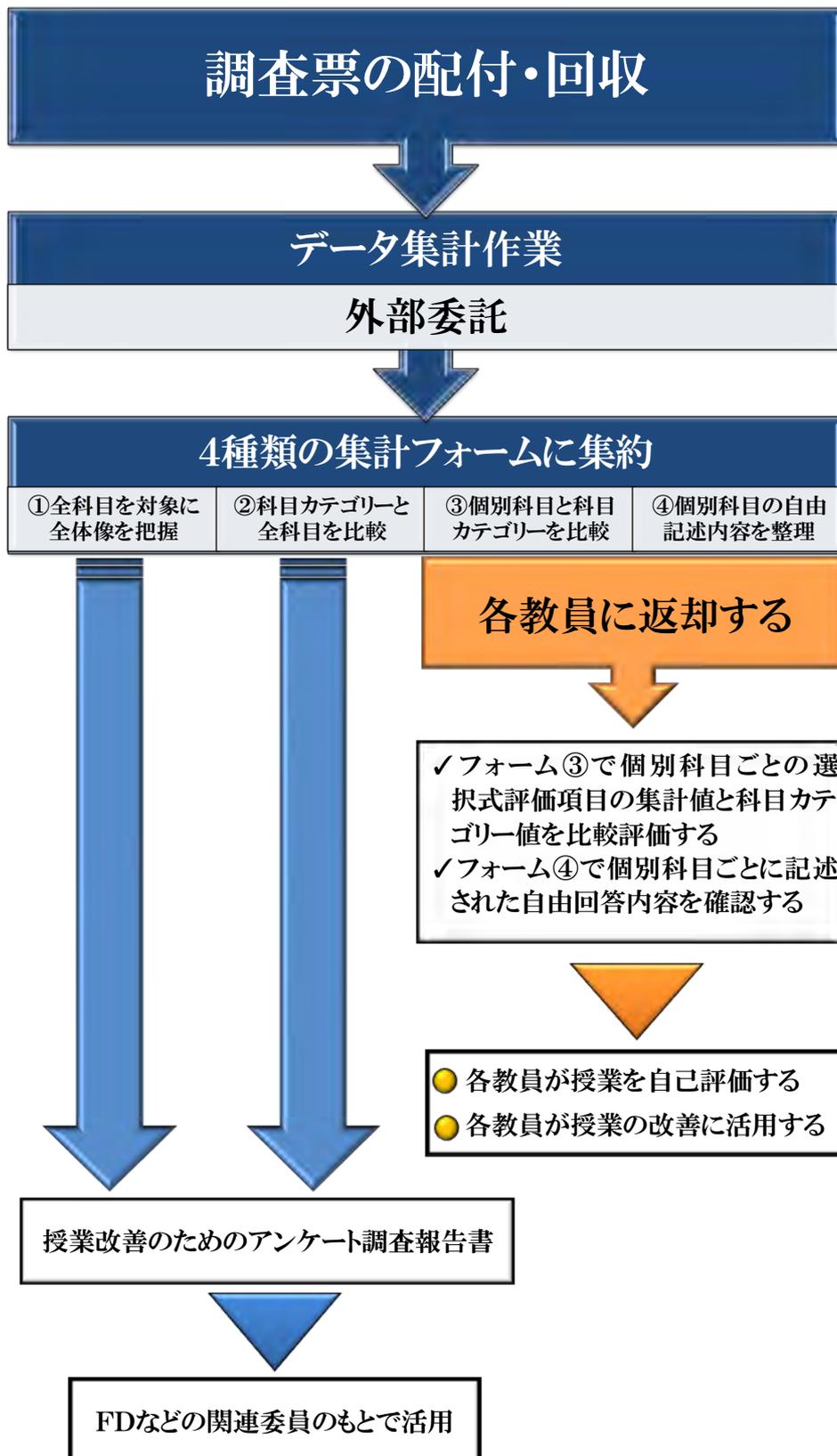
--

Q 2 3 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご注意ください。)

--

5. 調査結果の集計・分析と授業改善に向けた結果の活用について

既述したように、この調査の目的は各授業の成果・効果・到達点、さらに改善点などについて、学生から提供された授業の評価データを全科目、科目カテゴリー、教員個々を単位にして集計・分析し、結果を授業の自己点検・自己評価、授業改善のための参考資料として活用することにあります。今回のアンケート調査結果と授業改善に向けた活用の仕組みは以下の通りです。



授業アンケート結果集計表

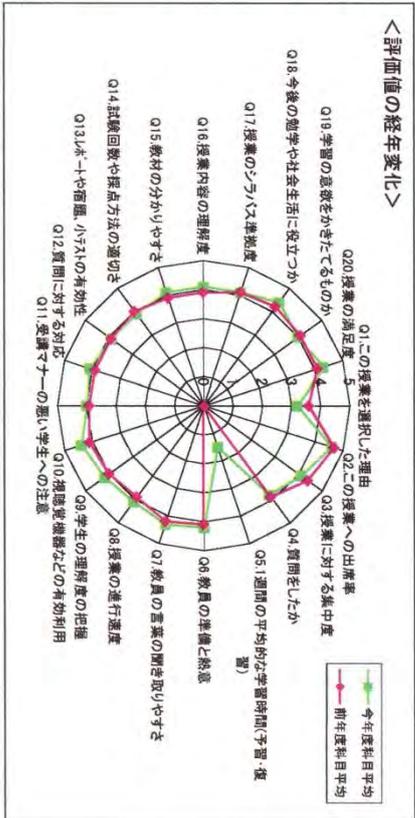
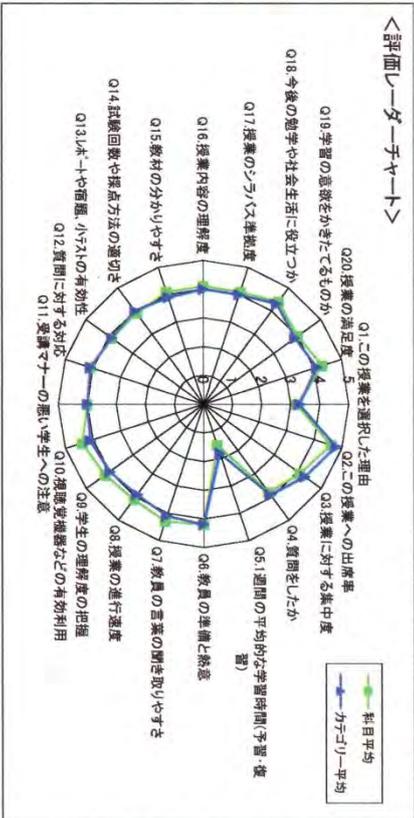
(教員返却用集計フォーム③サンプル)

20XX年度後期 北海商科大学

教員名	(教員コード) 教員名	履修者数	XX名
科目名	(科目コード) 科目名	回収数	YY枚
カテゴリ	(カテゴリ番号) カテゴリ名	回収率	ZZ.7%

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段:平均値	下段:標準偏差
	5	4	3	2	1		
01.この授業を選択した理由	0	3	13	0	0	3.2	3.3
	0.0%	18.8%	81.3%	0.0%	0.0%	0.39	0.57
02.この授業への出席率	9	7	0	0	0	4.6	4.8
	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.44
03.授業に対する集中度	2	14	0	0	0	4.1	4.3
	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.33	0.79
04.質問をしたか	2	11	1	2	0	3.8	3.9
	12.5%	68.8%	6.3%	12.5%	0.0%	0.81	1.03
05.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	0	1	1	3	10	1.5	1.8
	0.0%	6.3%	6.3%	18.8%	62.5%	0.89	1.30
06.教員の準備と熱意	6	7	3	0	0	4.2	4.2
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.94
07.教員の言葉の聞き取りやすさ	7	6	3	0	0	4.3	4.1
	43.8%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.75	0.96
08.授業の進行速度	6	6	3	1	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.90	1.00
09.学生の理解度の把握	6	7	3	0	0	4.2	4.0
	37.5%	43.8%	18.8%	0.0%	0.0%	0.73	0.99
10.視聴覚機器などの有効利用	8	6	2	0	0	4.4	4.1
	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.70	0.84
11.受講データの悪い学生への注意	4	7	4	0	1	4.0	4.0
	25.0%	43.8%	25.0%	0.0%	6.3%	0.73	0.83
12.質問に対する対応	6	6	4	0	0	4.1	4.1
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.78	0.89
13.レポートや宿題、小テストの有効性	3	8	3	1	1	3.9	3.9
	18.8%	50.0%	18.8%	6.3%	6.3%	0.81	0.91
14.試験回数や採点方法の適切さ	3	9	4	0	0	3.9	4.0
	18.8%	56.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.66	0.90
15.教材の分かりやすさ	6	6	4	0	0	4.1	3.9
	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	0.78	0.91
16.授業内容の理解度	5	7	4	0	0	4.1	4.0
	31.3%	43.8%	25.0%	0.0%	0.0%	0.75	0.91
17.授業のシラバスの準備度	3	9	2	0	0	4.1	4.0
	18.8%	56.3%	12.5%	0.0%	12.5%	0.59	0.88
18.今後の勉学や社会生活に役立つか	9	5	2	0	0	4.4	4.3
	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%	0.71	0.85
19.学習の意欲をかきたてるものか	3	10	3	0	0	4.0	3.9
	18.8%	62.5%	18.8%	0.0%	0.0%	0.61	0.89
20.授業の満足度	8	5	3	0	0	4.3	4.1
	50.0%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.77	0.95

※標準偏差の大小は、回答のバラツキの大小を表す。



※05は新規項目の為、前年度科目平均はありません。

各教員に返却された前ページの集計フォーム③、④のサンプルを以下に掲げます。

自由記述一覧

(教員返却用集計フォーム④ サンプル)

20XX 年度後期 北海商科大学

教員名： (教員コード) 教員名

科目名： (科目コード) 科目名

Q21 この授業でとくに良かった点は何ですか。

項番	内 容
1	配布プリントがとても見やすく、理解しやすかった。また授業もわからない部分はしっかり教えてくれた。

Q22 この授業でとくに改善してほしい点は何ですか。

項番	内 容
1	意見がありませんでした。

Q23 その他の意見・要望があればご記入下さい。(誹謗・中傷はアンケートの主旨に反しますので、ご留意下さい。)

項番	内 容
1	××××の資格を持っていたら、単位認定などの優遇があれば良いと思う。



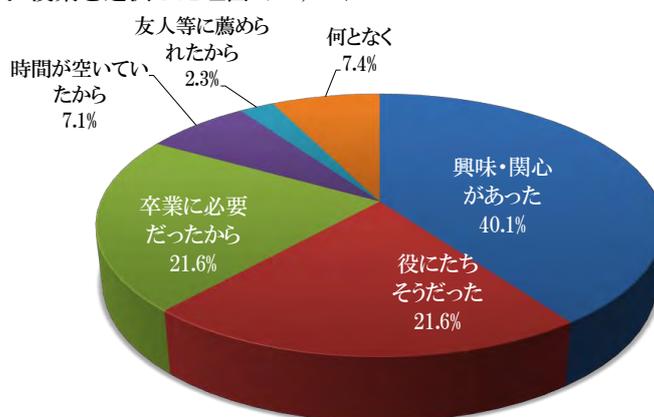
II. 集計結果について

1. 全科目の単純集計結果について

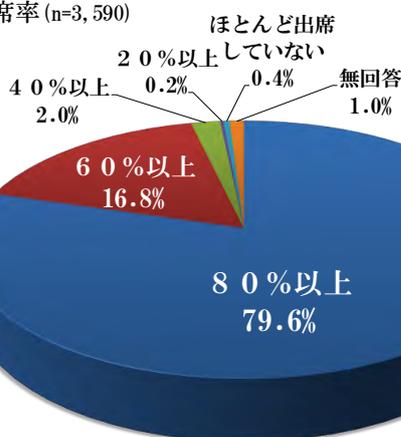
ここでの集計表は、評価項目別の回答結果を単純に集計したものです。表では評価値として平均値を算出していますが、これは評価項目別に回答結果を評価点（1～5点）で加重平均したものです。また平均値の下段の標準偏差は、回答のバラツキの大小を表しています。各評価項目の平均値は「5」に近ければ良好な評価となり、標準偏差は小さければ回答のバラツキが小さいことを表します。したがって、評価平均値が「5」に近く標準偏差が小さいほど優良な評価を意味することになります。一方、レーダーチャートに表示されている平均値では、評価項目別の評価の良否と全評価項目のバランスを同時に検討することができます。

(1) 講義の選択動機と出席率について (Q1、Q2)

Q 1. 授業を選択した理由 (n=3,590)



Q 2. 授業への出席率 (n=3,590)



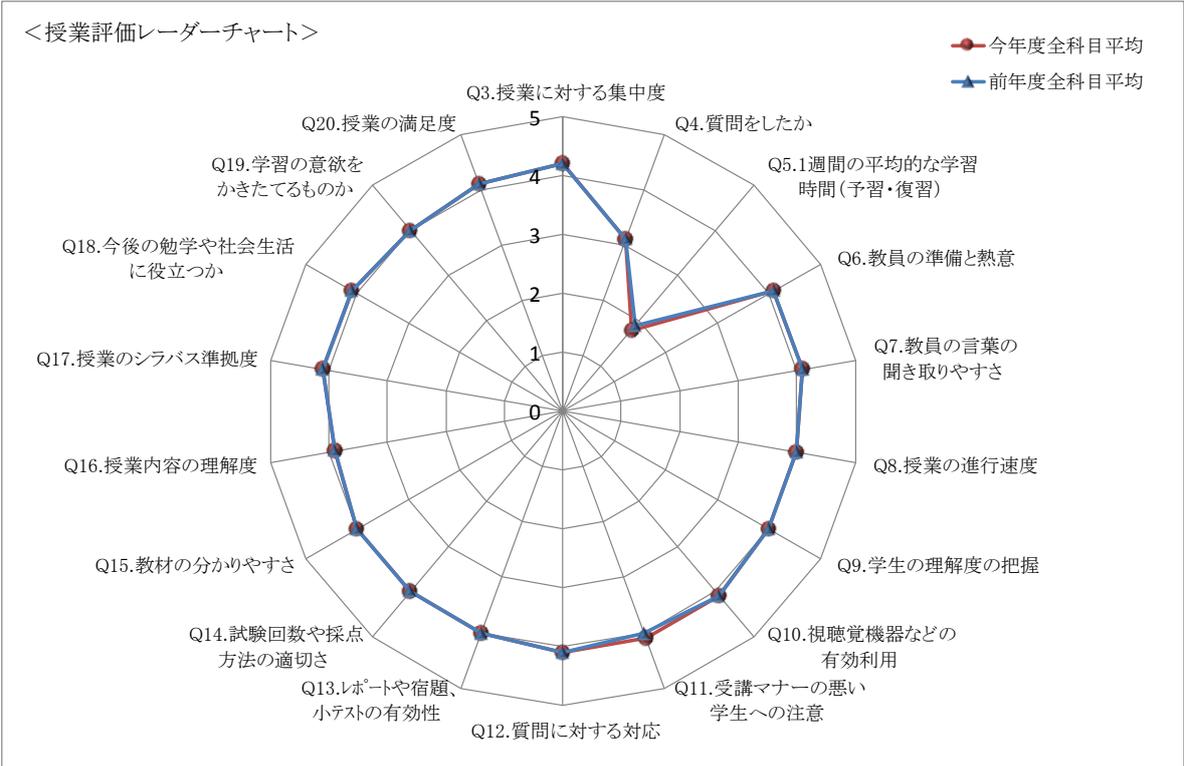
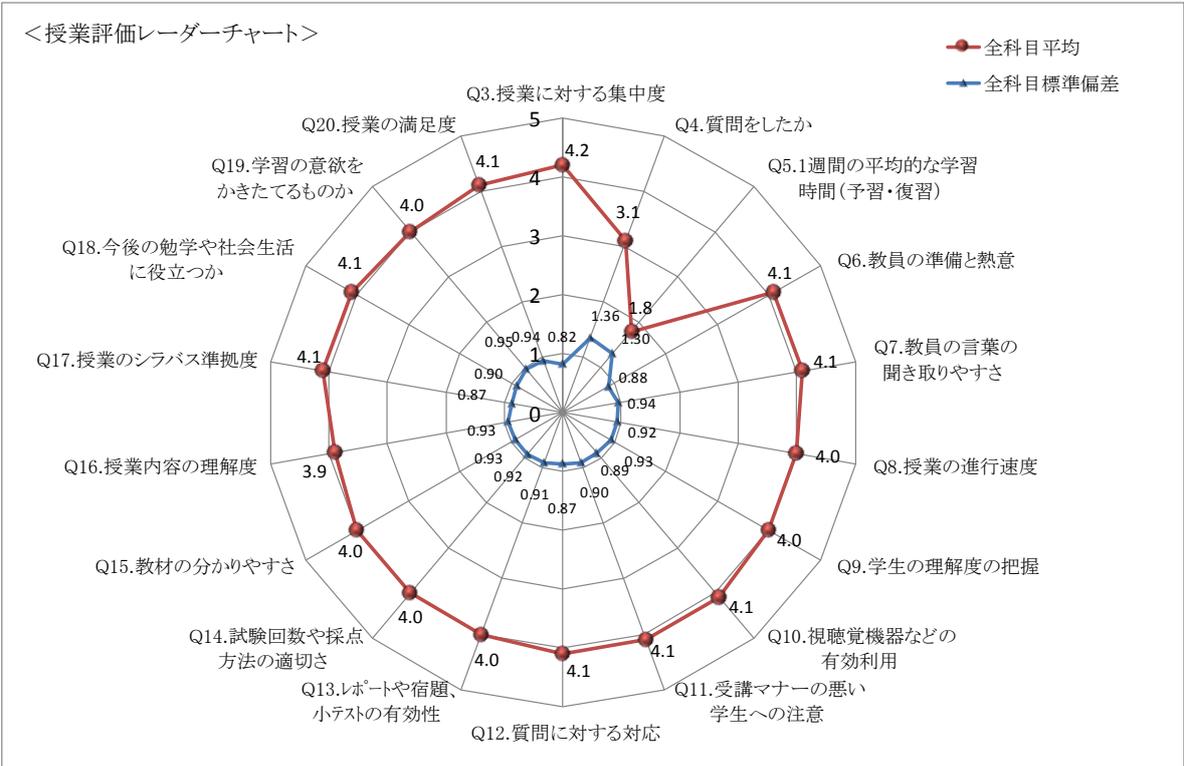
(2) 学生の受講姿勢 (Q3～Q5) と授業評価 (Q6～Q20) について

Q3～Q5までは、学生の授業に対する受講姿勢に関する質問です。「Q3. 授業に対する集中度」は全科目の平均で「4.2」でしたが、授業に対する積極性を問う「Q4. 質問をしたか」については、Q3に比較すると低い値の「3.1」であることから、積極性に問題点がありそうです。一方、学習量や学習の主体性を問う「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」では、「1時間未満」とした回答が58.6%と最も多く、以下「1時間以上2時間未満」が16.8%、「2時間以上3時間未満」が8.1%と続き、「4時間以上」は回答者全体の9.5%に止まりました。これらのことから、全般的に学習時間が不足しているように思われます。ただしQ4、Q5については、標準偏差が1.36、1.30であり、他の質問項目に比較してかなり大きいことから、受講姿勢や学習時間には個人差がみられます

(p. 8, 9 参照)。Q6～Q20 までの授業評価については以下の通りです。「Q16. 授業内容の理解度」の平均値は「3.9」でした。「Q6. 教員の準備と熱意」「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」「Q12. 質問に対する対応」「Q17. 授業のシラバス準拠度」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」「Q20. 授業の満足度」等の8項目で平均値が「4.1」となっています。それ以外の6項目で平均値は「4.0」であり、ほぼすべての項目で平均値は「4」以上の評価を得ています。以上から、全体として満足できる範疇にあるといえるでしょう。また各回答のバラツキの程度を表す標準偏差は全項目で「1」未満であり、質問項目間で大きな差は見受けられません。

一方、Q21～Q23の自由記述欄への回答に関しては、以下の通りです。「Q21. この授業でとくに良かった点は何ですか」との問いに対しては、全体で609件の回答がありました。これに対し「Q22. この授業でとくに改善して欲しい点は何ですか」は半数以下の230件ありました。一方「Q23. その他の意見・要望があれば記入してください」についても135件の回答が寄せられました。これらの回答内容については、後述の科目カテゴリー別のアンケート結果欄において触れます。なお、既述の通りこれら自由回答欄の内容は「集計フォーム④」として整理され、「集計フォーム③」とともに各科目の担当教員に返却されており、今後の授業展開時に授業改善に向けた参考資料として活用されることとなります。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)					上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	全科平均
Q3. 授業に対する集中度	1,360	1,574	462	94	31	68	4.2
	37.9%	43.9%	12.9%	2.6%	0.9%	1.9%	0.82
Q4. 質問をしたか	646	784	966	361	651	181	3.1
	18.0%	21.8%	26.9%	10.1%	18.1%	5.0%	1.36
Q5. 1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	340	126	290	602	2,104	127	1.8
	9.5%	3.5%	8.1%	16.8%	58.6%	3.5%	1.30
Q6. 教員の準備と熱意	1,495	1,171	741	59	37	86	4.1
	41.7%	32.6%	20.6%	1.6%	1.0%	2.4%	0.88
Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ	1,455	1,139	773	95	59	68	4.1
	40.5%	31.7%	21.5%	2.6%	1.6%	1.9%	0.94
Q8. 授業の進行速度	1,285	1,174	916	75	50	89	4.0
	35.8%	32.7%	25.5%	2.1%	1.4%	2.5%	0.92
Q9. 学生の理解度の把握	1,311	1,143	901	73	55	106	4.0
	36.5%	31.8%	25.1%	2.0%	1.5%	3.0%	0.93
Q10. 視聴覚機器などの有効利用	1,505	1,093	817	51	36	87	4.1
	41.9%	30.5%	22.8%	1.4%	1.0%	2.4%	0.89
Q11. 受講マナーの悪い学生への注意	1,378	1,148	840	63	37	123	4.1
	38.4%	32.0%	23.4%	1.8%	1.0%	3.4%	0.90
Q12. 質問に対する対応	1,335	1,166	808	47	28	205	4.1
	37.2%	32.5%	22.5%	1.3%	0.8%	5.7%	0.87
Q13. レポートや宿題、小テストの有効性	1,185	1,056	1,062	58	36	192	4.0
	33.0%	29.4%	29.6%	1.6%	1.0%	5.3%	0.91
Q14. 試験回数や採点方法の適切さ	1,262	995	978	61	34	259	4.0
	35.2%	27.7%	27.2%	1.7%	0.9%	7.2%	0.92
Q15. 教材の分かりやすさ	1,310	1,019	1,016	77	43	124	4.0
	36.5%	28.4%	28.3%	2.1%	1.2%	3.5%	0.93
Q16. 授業内容の理解度	1,161	1,200	981	95	58	94	3.9
	32.3%	33.4%	27.3%	2.6%	1.6%	2.6%	0.93
Q17. 授業のシラバス準拠度	1,267	1,014	927	27	19	335	4.1
	35.3%	28.3%	25.8%	0.8%	0.5%	9.3%	0.87
Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか	1,351	1,119	889	49	41	140	4.1
	37.6%	31.2%	24.8%	1.4%	1.1%	3.9%	0.90
Q19. 学習の意欲をかきたてるものか	1,246	1,095	991	74	67	116	4.0
	0.9%	30.5%	27.6%	2.1%	1.9%	3.2%	0.95
Q20. 授業の満足度	1,443	1,117	819	69	64	77	4.1
	40.2%	31.1%	22.8%	1.9%	1.8%	2.1%	0.94



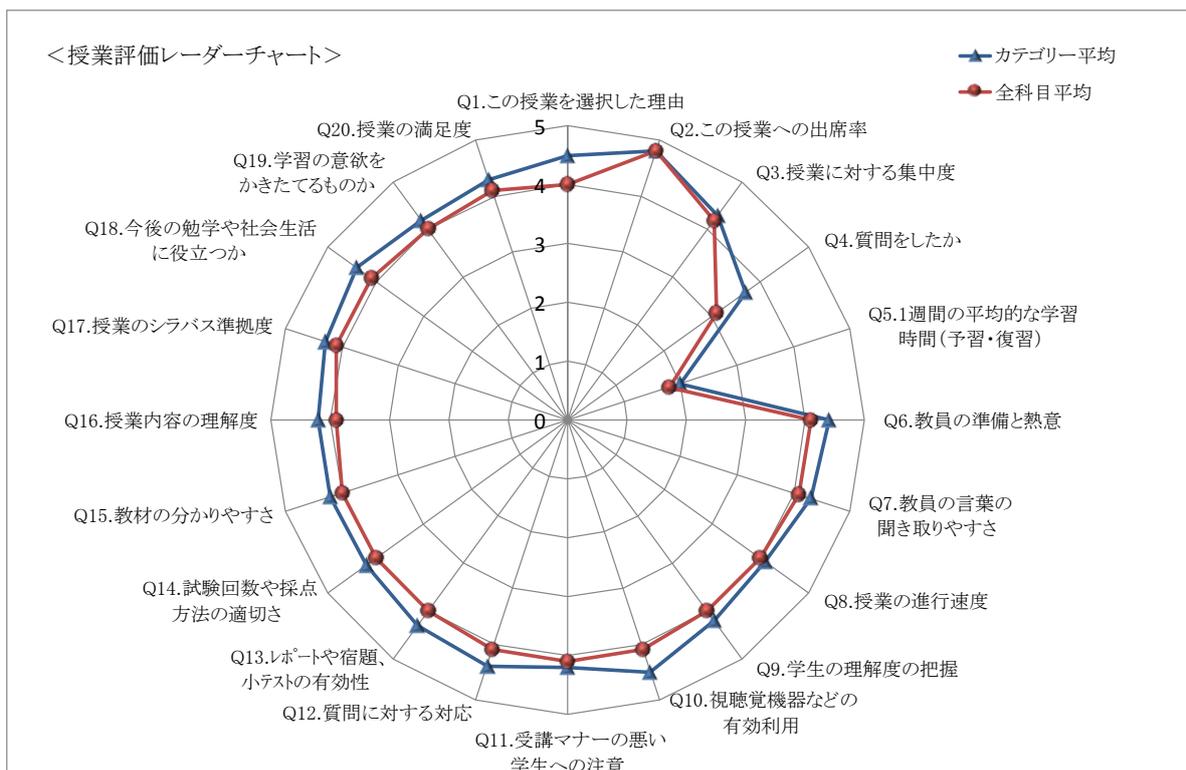
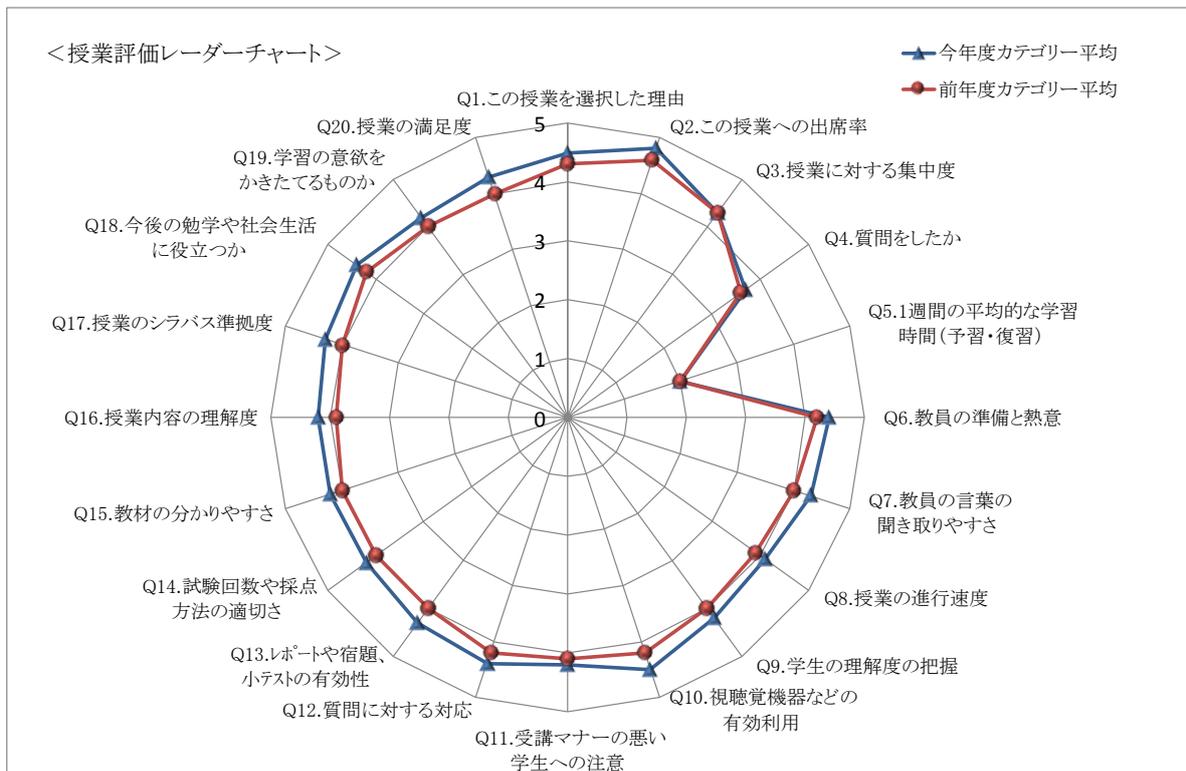
2. 各科目カテゴリーの単純集計結果について

ここからは、科目カテゴリーごとに全科目との比較を通して単純集計結果を検討します。なお、「留学生プログラム」カテゴリーは検討対象としていません。

<異文化交流科目：語学>

異文化交流科目のうち語学における「授業評価」の全体的な傾向は、以下の表やレーダーチャートからわかるように、ほぼすべての項目で前年度平均を上回る結果が出ました。また、カテゴリー平均と比べても、ほぼすべての項目で平均を上回る評価が与えられています。中でも、「Q4. 質問をしたか」と「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」と「Q12. 質問に対する対応」の3つは極めて高い評価を得ています。語学の授業だからこそ、視聴覚機器を駆使し、よりよい授業環境づくりを行っている成果と言えます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	71	45	7	3	0	7	4.5	4.0
	53.4%	33.8%	5.3%	2.3%	0.0%	5.3%	0.71	1.09
Q2.この授業への出席率	102	28	2	0	0	1	4.8	4.8
	76.7%	21.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.8%	0.46	0.53
Q3.授業に対する集中度	55	65	8	3	0	2	4.3	4.2
	41.4%	48.9%	6.0%	2.3%	0.0%	1.5%	0.69	0.82
Q4.質問をしたか	28	55	30	9	8	3	3.7	3.1
	21.1%	41.4%	22.6%	6.8%	6.0%	2.3%	1.08	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	6	6	20	48	49	4	2.0	1.8
	4.5%	4.5%	15.0%	36.1%	36.8%	3.0%	1.07	1.30
Q6.教員の準備と熱意	68	51	11	2	0	1	4.4	4.1
	51.1%	38.3%	8.3%	1.5%	0.0%	0.8%	0.71	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	60	52	13	2	3	3	4.3	4.1
	45.1%	39.1%	9.8%	1.5%	2.3%	2.3%	0.87	0.94
Q8.授業の進行速度	48	59	21	3	1	1	4.1	4.0
	36.1%	44.4%	15.8%	2.3%	0.8%	0.8%	0.82	0.92
Q9.学生の理解度の把握	55	52	23	2	0	1	4.2	4.0
	41.4%	39.1%	17.3%	1.5%	0.0%	0.8%	0.78	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	77	47	7	1	1	0	4.5	4.1
	57.9%	35.3%	5.3%	0.8%	0.8%	0.0%	0.70	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	55	53	21	3	0	1	4.2	4.1
	41.4%	39.8%	15.8%	2.3%	0.0%	0.8%	0.79	0.90
Q12.質問に対する対応	61	58	11	1	0	2	4.4	4.1
	45.9%	43.6%	8.3%	0.8%	0.0%	1.5%	0.67	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	55	58	18	0	1	1	4.3	4.0
	41.4%	43.6%	13.5%	0.0%	0.8%	0.8%	0.75	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	53	41	28	2	0	9	4.2	4.0
	39.8%	30.8%	21.1%	1.5%	0.0%	6.8%	0.83	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	52	49	28	1	0	3	4.2	4.0
	39.1%	36.8%	21.1%	0.8%	0.0%	2.3%	0.79	0.93
Q16.授業内容の理解度	46	61	23	1	0	2	4.2	3.9
	34.6%	45.9%	17.3%	0.8%	0.0%	1.5%	0.73	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	58	42	16	1	0	16	4.3	4.1
	43.6%	31.6%	12.0%	0.8%	0.0%	12.0%	0.74	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	68	49	13	0	1	2	4.4	4.1
	51.1%	36.8%	9.8%	0.0%	0.8%	1.5%	0.73	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	61	40	27	1	2	2	4.2	4.0
	45.9%	30.1%	20.3%	0.8%	1.5%	1.5%	0.89	0.95
Q20.授業の満足度	60	52	18	1	2	0	4.3	4.1
	45.1%	39.1%	13.5%	0.8%	1.5%	0.0%	0.83	0.94



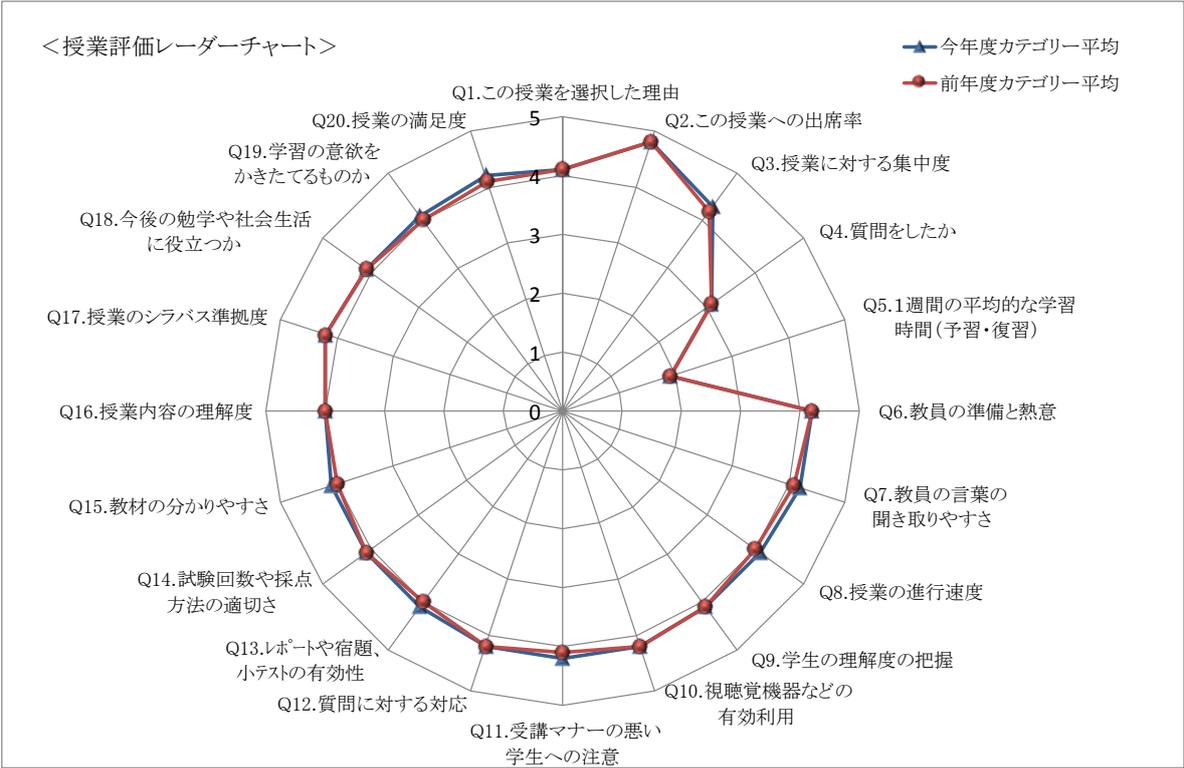
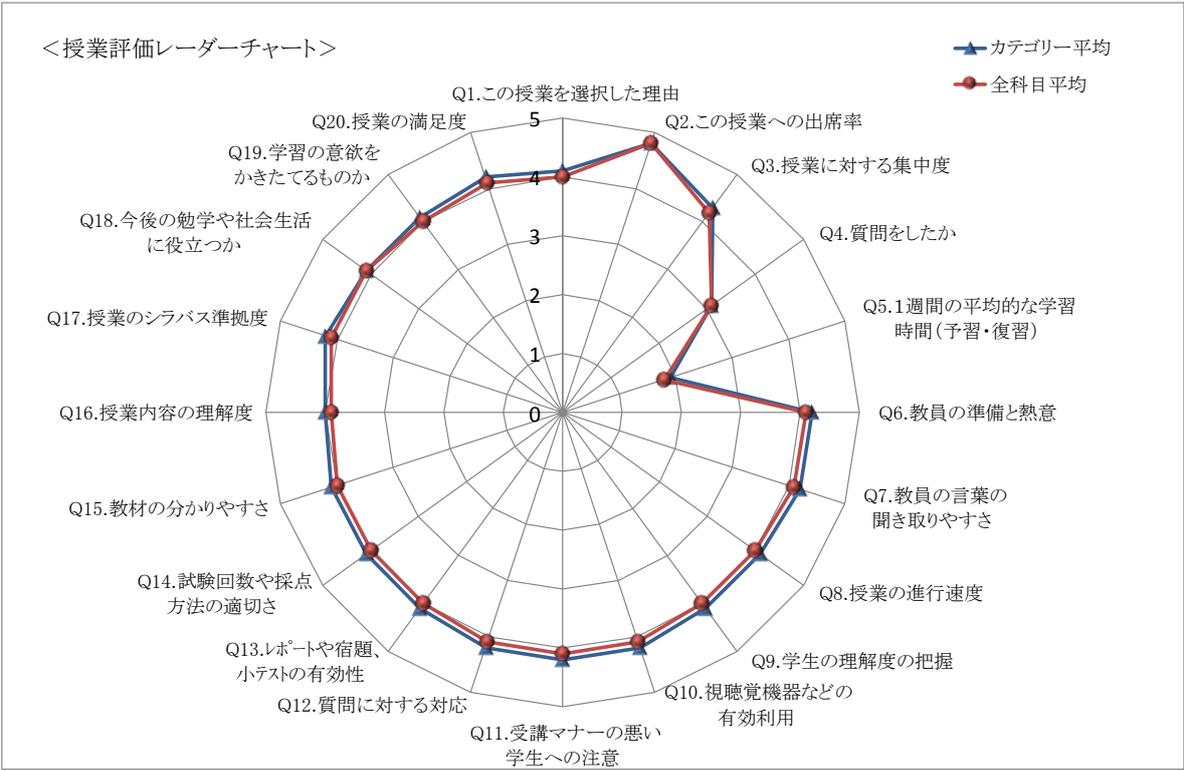
「自由記述」においては、英会話・中国語・韓国語すべて「ネイティブとの会話により、よりよい発音が身についた」との声が多くありました。また、韓国語での音楽教材の導入、中国語でのアニメ教材の導入などを喜ぶ記述が目立ち、視聴覚機器の利用が学生に非常に有効に作用していることが自由記述からも明確になりました。

<異文化交流科目：社会と文化>

異文化交流科目のうち、「社会と文化」についての科目には、講義科目とゼミナールが含まれています。「全科目平均」と比較したレーダーチャートを見ると、ほぼ平均と一致し、大きな相違を示す項目はありません。前年度と比較すると、ほぼ全ての項目においてわずかではありますが、評価が上昇しています。もっとも上回ったものの一つは「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」です。注意する必要がないことが一番なのは言うまでもなく、このような項目が目立つこと自体あまり望ましいことではありません。

「自由記述」においても、多人数編成の授業でも「友達からの評価が刺激になった」「グループワークのおかげでいろいろな視点での物事を見られるようになった」など、アクティブラーニングの実践を試みる教員の具体的工夫が推し量れるものでした。一方で、学生としては教員からの説明よりも学生間でのやりとりから学ぶことがやはり多くあるのだという事実を示すものでもありました。改善点としては板書に関わるものが多く見られました。多くの授業では基本的にスライドを投影して、必要に応じてまれに黒板を使用する程度なのですが、そのたまの使用がかえって雑な印象を与える結果になっているようです。板書の意味を説明する必要があると思われます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	475	157	79	93	36	118	4.1	4.0
	49.6%	16.4%	8.2%	9.7%	3.8%	12.3%	1.21	1.09
Q2.この授業への出席率	791	126	23	3	4	11	4.8	4.8
	82.6%	13.2%	2.4%	0.3%	0.4%	1.1%	0.53	0.53
Q3.授業に対する集中度	421	405	84	20	4	24	4.3	4.2
	43.9%	42.3%	8.8%	2.1%	0.4%	2.5%	0.76	0.82
Q4.質問をしたか	200	175	234	106	194	49	3.1	3.1
	20.9%	18.3%	24.4%	11.1%	20.3%	5.1%	1.43	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	128	24	66	142	565	33	1.9	1.8
	13.4%	2.5%	6.9%	14.8%	59.0%	3.4%	1.42	1.30
Q6.教員の準備と熱意	476	247	191	15	8	21	4.2	4.1
	49.7%	25.8%	19.9%	1.6%	0.8%	2.2%	0.89	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	469	243	181	27	19	19	4.2	4.1
	49.0%	25.4%	18.9%	2.8%	2.0%	2.0%	0.98	0.94
Q8.授業の進行速度	422	253	225	16	16	26	4.1	4.0
	44.1%	26.4%	23.5%	1.7%	1.7%	2.7%	0.95	0.92
Q9.学生の理解度の把握	417	252	228	21	14	26	4.1	4.0
	43.5%	26.3%	23.8%	2.2%	1.5%	2.7%	0.95	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	459	266	169	25	12	27	4.2	4.1
	47.9%	27.8%	17.6%	2.6%	1.3%	2.8%	0.92	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	470	256	176	18	18	20	4.2	4.1
	49.1%	26.7%	18.4%	1.9%	1.9%	2.1%	0.94	0.90
Q12.質問に対する対応	443	265	182	14	9	45	4.2	4.1
	46.2%	27.7%	19.0%	1.5%	0.9%	4.7%	0.89	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	364	253	255	18	9	59	4.1	4.0
	38.0%	26.4%	26.6%	1.9%	0.9%	6.2%	0.93	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	391	257	214	17	9	70	4.1	4.0
	40.8%	26.8%	22.3%	1.8%	0.9%	7.3%	0.91	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	418	252	231	16	7	34	4.1	4.0
	43.6%	26.3%	24.1%	1.7%	0.7%	3.5%	0.91	0.93
Q16.授業内容の理解度	367	281	236	31	15	28	4.0	3.9
	38.3%	29.3%	24.6%	3.2%	1.6%	2.9%	0.96	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	412	256	207	9	7	67	4.2	4.1
	43.0%	26.7%	21.6%	0.9%	0.7%	7.0%	0.88	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	400	254	225	15	14	50	4.1	4.1
	41.8%	26.5%	23.5%	1.6%	1.5%	5.2%	0.94	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	395	248	234	27	20	34	4.1	4.0
	41.2%	25.9%	24.4%	2.8%	2.1%	3.5%	1.00	0.95
Q20.授業の満足度	447	257	192	21	21	20	4.2	4.1
	46.7%	26.8%	20.0%	2.2%	2.2%	2.1%	0.97	0.94

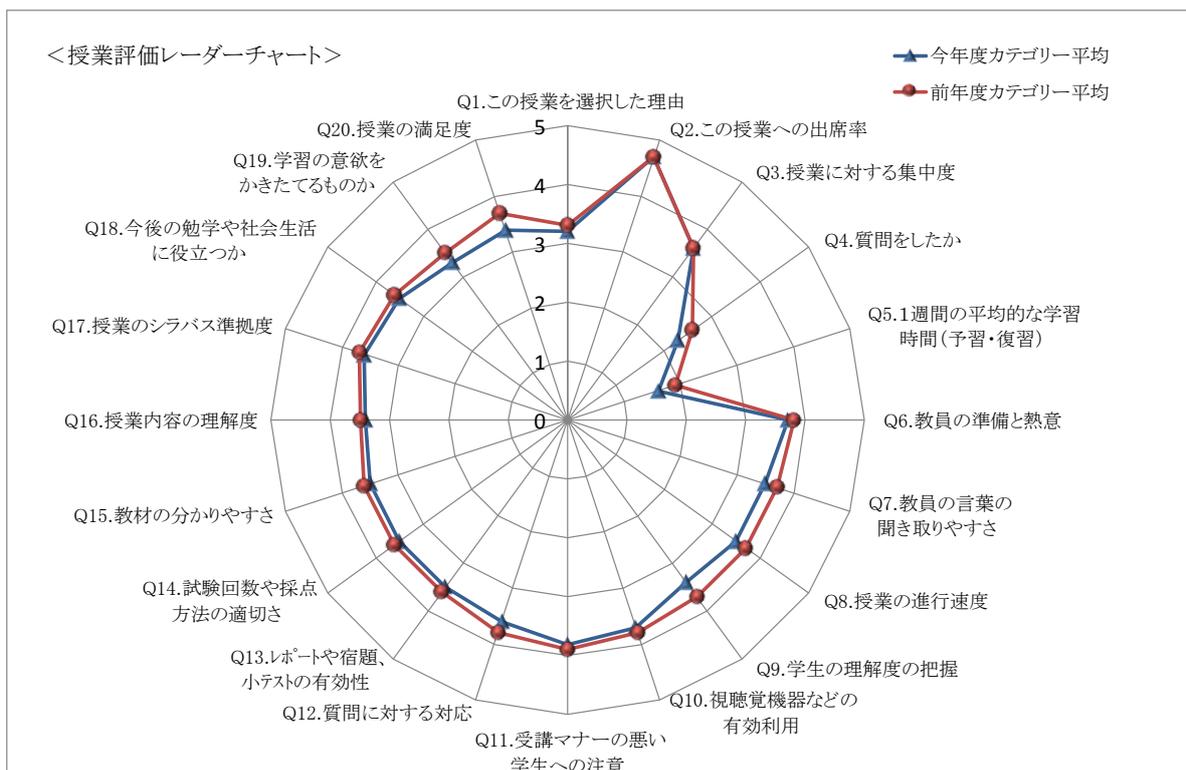
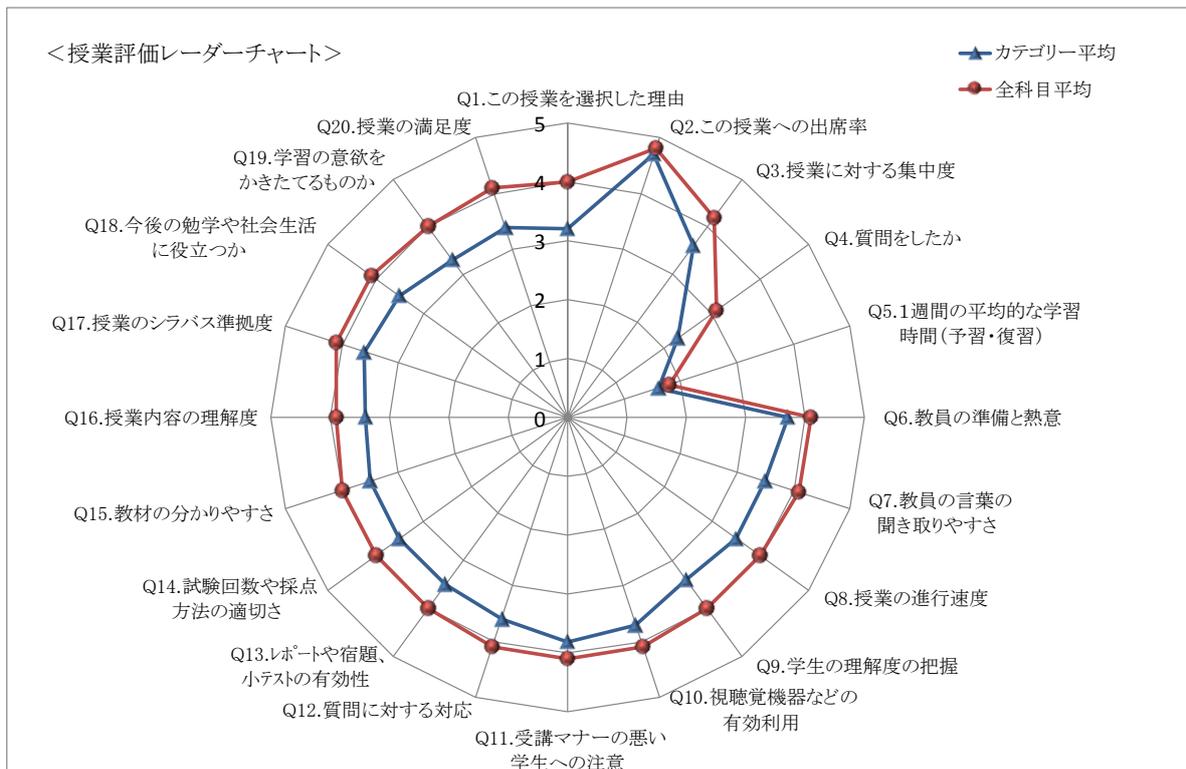


<専門基礎講義科目>

専門基礎講義科目（「経済システム理論Ⅱ」および「経済と社会の仕組みⅡ」）のアンケート結果を昨年度同期と比較すると、「Q2. この授業への出席率」と「Q3. 授業に対する集中度」を除く、すべての質問項目について0.1～0.3ポイントの低下がみられます。特に、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q19. 学習の意欲をかき立てるものか」、「Q20. 授業の満足度」についての低下が大きいといえます。全科目の平均値と専門基礎講義科目の平均値の比較では、「Q2」と「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」を除く全項目について、全科目の評価平均をかなりの程度下回っています。昨年度と比較すると、全科目平均との差は全体的に拡大しているといえます。

このカテゴリーの科目の評価値は、ここ1、2年低下傾向にあります。授業内容や授業方法に大きな変更がないにもかかわらず、評価値が低下しているのは、第1に受講者側の入学前の基礎学力が低下、第2に予習・復習の欠如に因るところが大きいと推察できます。このカテゴリーに含まれる理論科目の理解には予習・復習が不可欠ですが、アンケートの結果からみる限り、予習・復習の時間が決定的に不足しているといえます。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	31	17	258	1	2	19	3.2	4.0
	9.5%	5.2%	78.7%	0.3%	0.6%	5.8%	0.66	1.09
Q2.この授業への出席率	260	57	5	1	3	2	4.7	4.8
	79.3%	17.4%	1.5%	0.3%	0.9%	0.6%	0.59	0.53
Q3.授業に対する集中度	61	121	92	28	18	8	3.6	4.2
	18.6%	36.9%	28.0%	8.5%	5.5%	2.4%	1.07	0.82
Q4.質問をしたか	22	31	87	32	137	19	2.3	3.1
	6.7%	9.5%	26.5%	9.8%	41.8%	5.8%	1.31	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	19	8	25	55	212	9	1.6	1.8
	5.8%	2.4%	7.6%	16.8%	64.6%	2.7%	1.12	1.30
Q6.教員の準備と熱意	72	122	94	16	11	13	3.7	4.1
	22.0%	37.2%	28.7%	4.9%	3.4%	4.0%	0.98	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	63	91	127	25	13	9	3.5	4.1
	19.2%	27.7%	38.7%	7.6%	4.0%	2.7%	1.02	0.94
Q8.授業の進行速度	58	87	142	20	11	10	3.5	4.0
	17.7%	26.5%	43.3%	6.1%	3.4%	3.0%	0.97	0.92
Q9.学生の理解度の把握	53	84	132	22	20	17	3.4	4.0
	16.2%	25.6%	40.2%	6.7%	6.1%	5.2%	1.05	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	76	89	139	5	8	11	3.7	4.1
	23.2%	27.1%	42.4%	1.5%	2.4%	3.4%	0.94	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	79	118	104	7	4	16	3.8	4.1
	24.1%	36.0%	31.7%	2.1%	1.2%	4.9%	0.88	0.90
Q12.質問に対する対応	52	99	130	6	7	34	3.6	4.1
	15.9%	30.2%	39.6%	1.8%	2.1%	10.4%	0.88	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	56	80	148	15	11	18	3.5	4.0
	0.9%	24.4%	45.1%	4.6%	3.4%	5.5%	0.96	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	62	81	136	19	9	21	3.5	4.0
	18.9%	24.7%	41.5%	5.8%	2.7%	6.4%	0.98	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	56	75	151	16	14	16	3.5	4.0
	17.1%	22.9%	46.0%	4.9%	4.3%	4.9%	0.99	0.93
Q16.授業内容の理解度	52	70	153	21	19	13	3.4	3.9
	15.9%	21.3%	46.6%	6.4%	5.8%	4.0%	1.03	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	61	66	154	3	3	41	3.6	4.1
	18.6%	20.1%	47.0%	0.9%	0.9%	12.5%	0.86	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	58	73	153	7	11	26	3.5	4.1
	17.7%	22.3%	46.6%	2.1%	3.4%	7.9%	0.95	0.90
Q19.学習の意欲をかき立てるものか	47	69	154	15	22	21	3.3	4.0
	14.3%	21.0%	47.0%	4.6%	6.7%	6.4%	1.03	0.95
Q20.授業の満足度	52	81	145	19	16	15	3.4	4.1
	15.9%	24.7%	44.2%	5.8%	4.9%	4.6%	1.00	0.94

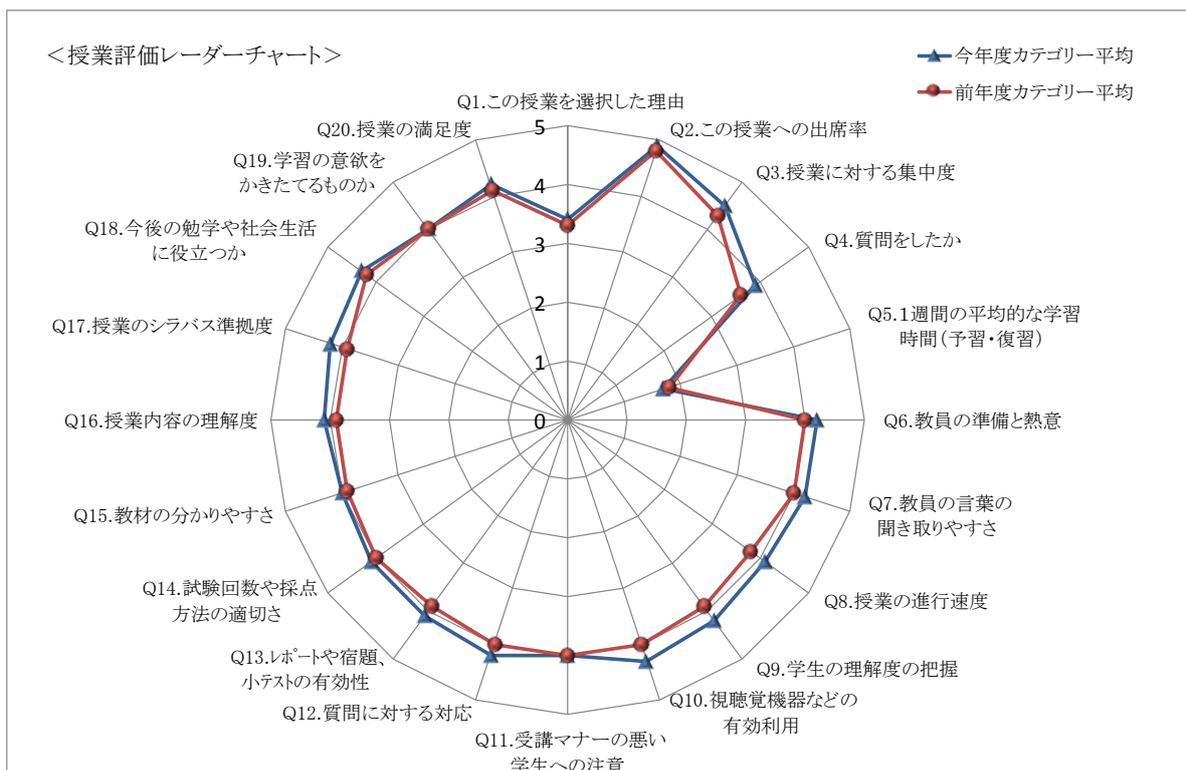
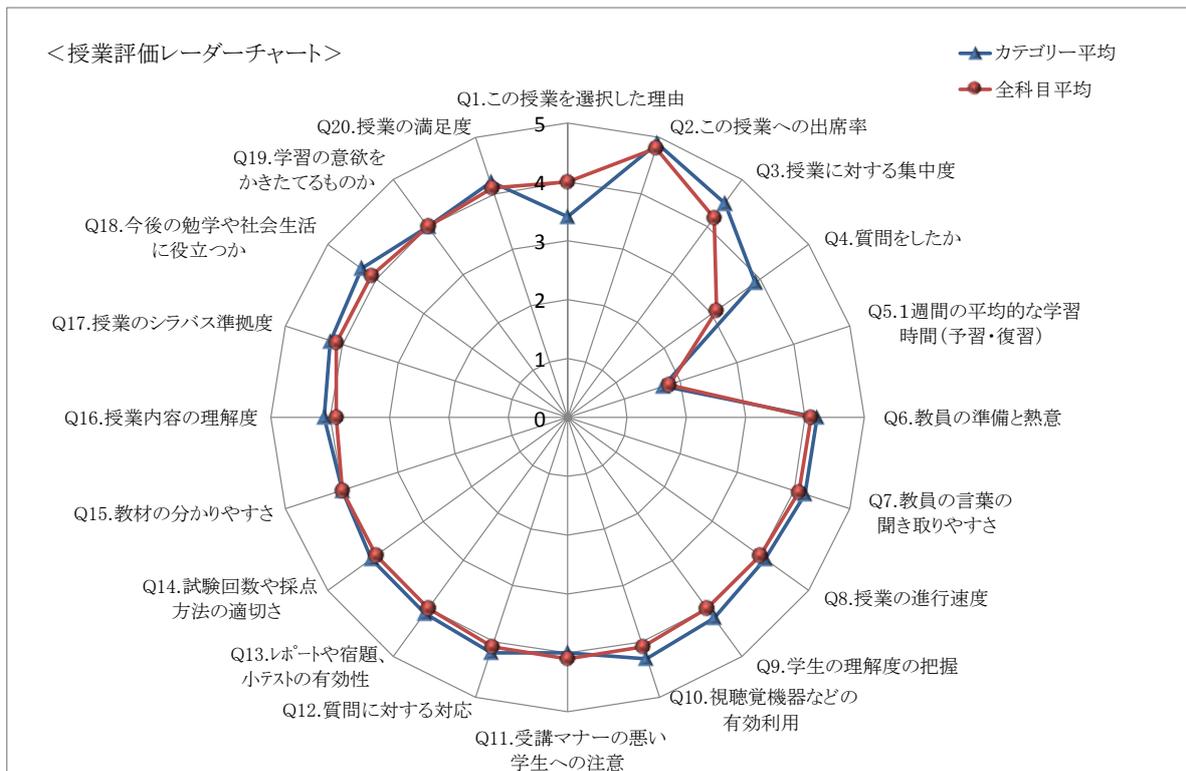


自由記述については、良かった点として、「出席管理が厳格で良かった」、「映像資料が多く、理解を深め興味を持つことができた」、「集中できる授業」、「毎回、前回の復習をしてくれる」、「テストの評価方法」などがありました。改善してほしい点としては、「テストの回数をもう少し減らしてほしい」、「難しすぎ。全くわからない。評価が厳しい」、「テストのカンニング防止」などがありました。

<専門基礎実習科目>

専門基礎実習科目（コンピュータ・リテラシーⅡ）に対する授業評価で、カテゴリーの評価が全科目平均を大きく上回る項目を見ると、「Q4. 質問をしたか」に関して全科目平均が3.1だったのに対し3.9と0.8ポイント高く、積極的な授業参加の態度がみられます。また、全科目平均より0.3ポイント高い項目は「Q3. この授業に対する集中度」、0.2ポイント高いのは「Q9. 学生の理解度の把握」と「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」となっています。全科目平均を下回る項目で目に付くのは、「Q1. この授業を選択した理由」に対しての評価が、全科目平均の4.0に対して0.6ポイント下回っていることですが、これは本科目が必修科目のためです。昨年度のカテゴリー平均に対して大きく評価が下がった項目はありません。なお、昨年度、全科目平均より評価が高いものの「Q4. 質問をしたか」のポイントが前の年度より若干下がっていましたが、今年度はより高い評価に復帰しています。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	25	12	127	0	0	8	3.4	4.0
	14.5%	7.0%	73.8%	0.0%	0.0%	4.7%	0.74	1.09
Q2.この授業への出席率	148	19	1	0	1	3	4.9	4.8
	86.0%	11.0%	0.6%	0.0%	0.6%	1.7%	0.46	0.53
Q3.授業に対する集中度	96	55	15	2	0	4	4.5	4.2
	55.8%	32.0%	8.7%	1.2%	0.0%	2.3%	0.71	0.82
Q4.質問をしたか	59	61	31	6	9	6	3.9	3.1
	34.3%	35.5%	18.0%	3.5%	5.2%	3.5%	1.08	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	20	0	7	16	121	8	1.7	1.8
	11.6%	0.0%	4.1%	9.3%	70.3%	4.7%	1.33	1.30
Q6.教員の準備と熱意	77	48	38	3	1	5	4.2	4.1
	44.8%	27.9%	22.1%	1.7%	0.6%	2.9%	0.88	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	78	50	37	4	1	2	4.2	4.1
	45.3%	29.1%	21.5%	2.3%	0.6%	1.2%	0.89	0.94
Q8.授業の進行速度	68	50	43	8	0	3	4.1	4.0
	39.5%	29.1%	25.0%	4.7%	0.0%	1.7%	0.92	0.92
Q9.学生の理解度の把握	73	53	40	2	0	4	4.2	4.0
	42.4%	30.8%	23.3%	1.2%	0.0%	2.3%	0.83	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	79	53	34	1	0	5	4.3	4.1
	45.9%	30.8%	19.8%	0.6%	0.0%	2.9%	0.80	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	59	63	41	4	2	3	4.0	4.1
	34.3%	36.6%	23.8%	2.3%	1.2%	1.7%	0.89	0.90
Q12.質問に対する対応	77	56	33	2	1	3	4.2	4.1
	44.8%	32.6%	19.2%	1.2%	0.6%	1.7%	0.84	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	62	54	48	1	0	7	4.1	4.0
	36.0%	31.4%	27.9%	0.6%	0.0%	4.1%	0.83	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	61	53	38	1	0	19	4.1	4.0
	35.5%	30.8%	22.1%	0.6%	0.0%	11.0%	0.81	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	61	51	43	6	2	9	4.0	4.0
	35.5%	29.7%	25.0%	3.5%	1.2%	5.2%	0.95	0.93
Q16.授業内容の理解度	60	64	39	4	1	4	4.1	3.9
	34.9%	37.2%	22.7%	2.3%	0.6%	2.3%	0.86	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	62	57	35	0	0	18	4.2	4.1
	36.0%	33.1%	20.3%	0.0%	0.0%	10.5%	0.77	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	81	55	33	0	0	3	4.3	4.1
	47.1%	32.0%	19.2%	0.0%	0.0%	1.7%	0.77	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	58	56	48	3	1	6	4.0	4.0
	33.7%	32.6%	27.9%	1.7%	0.6%	3.5%	0.87	0.95
Q20.授業の満足度	76	56	32	3	1	4	4.2	4.1
	44.2%	32.6%	18.6%	1.7%	0.6%	2.3%	0.85	0.94

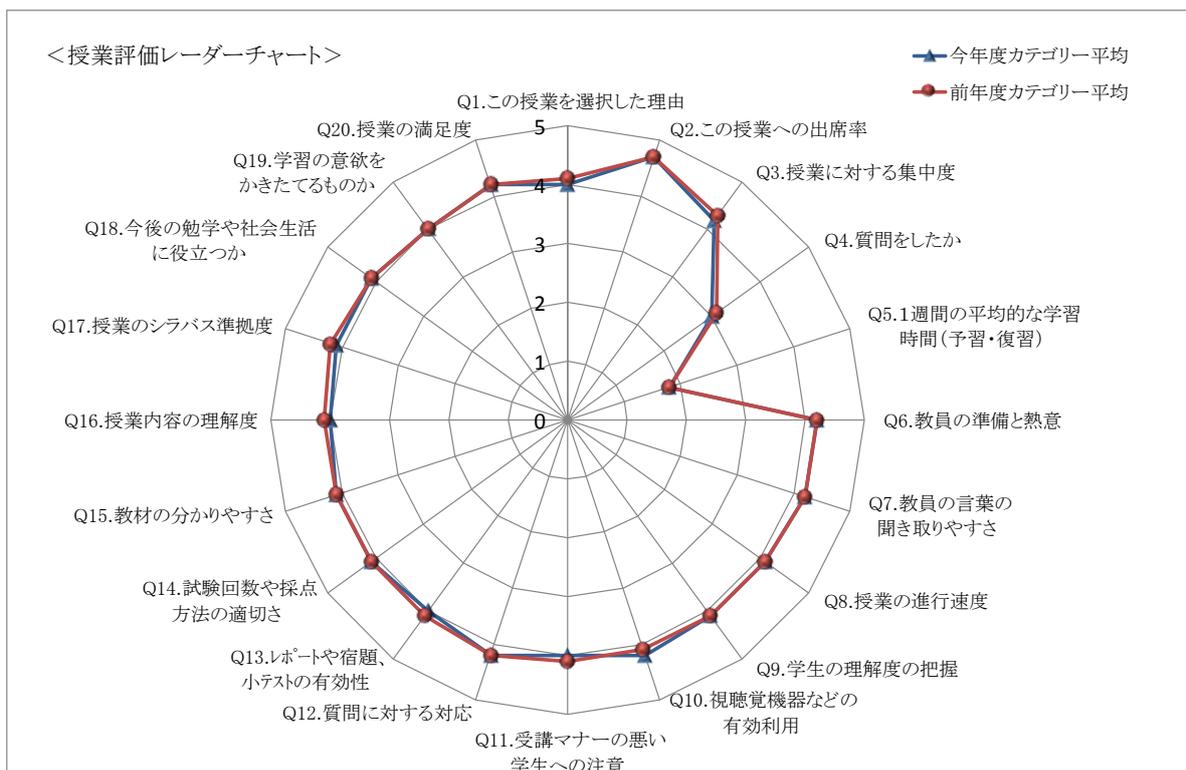
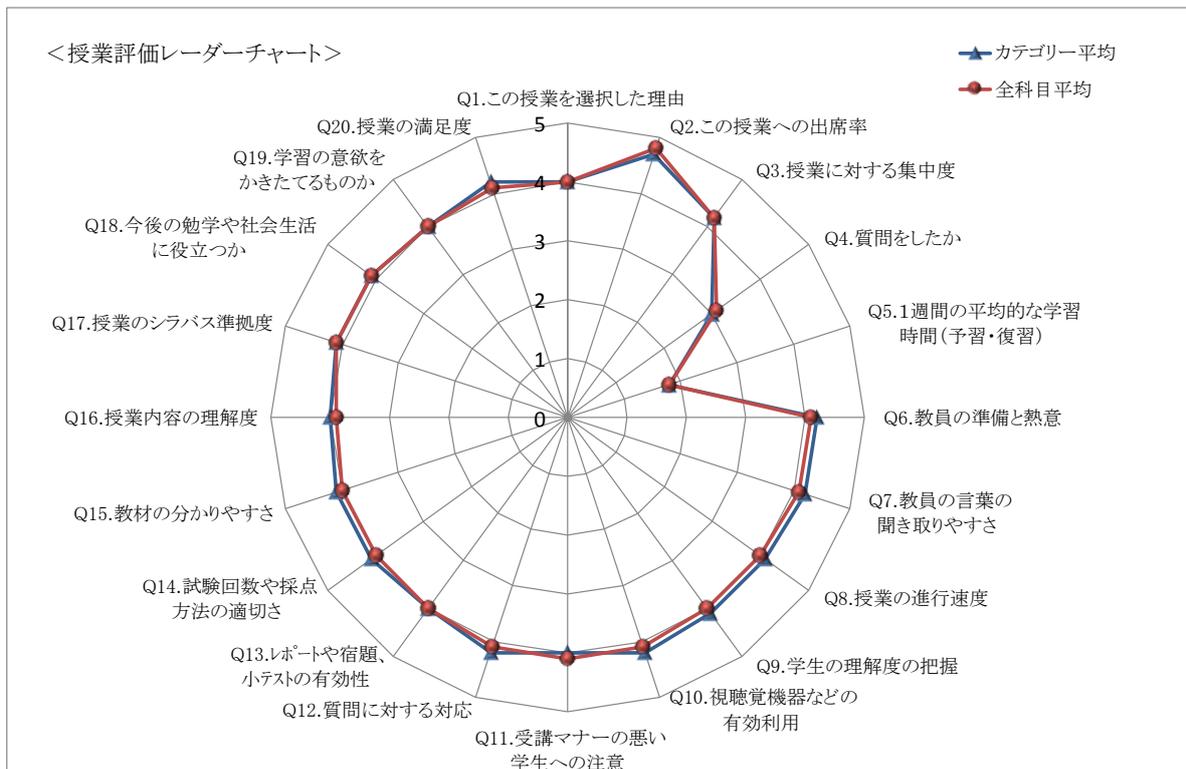


自由記述の項目に関しては、良かった点として「先生がしっかり教えてくれた。」「関数の使い方がより詳しく説明されていること。」「質問しやすい」など 24 件の記述がありました。一方、改善してほしい意見は 9 件あり、そのうち 3 件が課題の多さを指摘していましたが、より学習の機会を提供するものであり、決して学生にとってマイナスではないでしょう。

<専門関連科目>

専門関連科目に対する授業評価を総合的にみると、平均値では全科目平均とほぼ一致しています。敢えて昨年度同期との差異を上げると、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材のわかりやすさ」、「Q16. 授業内容の理解度」の6項目について、0.1ポイント程度の低下がみられました。総体としては、全体結果と比較しても、経年で比較しても、「Q4. 質問をしたか」と「Q5. 1週間の平均的な学習時間（予習・復習）」の2項目を除き、5段階評価の4を超える水準であり、比較的高い評価が得られたといえます。「Q4」と「Q5」は旧態依然の低い水準にとどまっています。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選じた理由	224	117	68	61	13	35	4.0	4.0
	43.2%	22.6%	13.1%	11.8%	2.5%	6.8%	1.16	1.09
Q2.この授業への出席率	370	127	15	2	1	3	4.7	4.8
	71.4%	24.5%	2.9%	0.4%	0.2%	0.6%	0.57	0.53
Q3.授業に対する集中度	176	259	70	6	1	6	4.2	4.2
	34.0%	50.0%	13.5%	1.2%	0.2%	1.2%	0.72	0.82
Q4.質問をしたか	72	117	142	68	89	30	3.0	3.1
	13.9%	22.6%	27.4%	13.1%	17.2%	5.8%	1.30	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	37	22	43	68	315	33	1.8	1.8
	7.1%	4.2%	8.3%	13.1%	60.8%	6.4%	1.24	1.30
Q6.教員の準備と熱意	223	171	102	6	5	11	4.2	4.1
	43.1%	33.0%	19.7%	1.2%	1.0%	2.1%	0.86	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	223	180	98	4	4	9	4.2	4.1
	43.1%	34.7%	18.9%	0.8%	0.8%	1.7%	0.83	0.94
Q8.授業の進行速度	195	190	111	4	3	15	4.1	4.0
	37.6%	36.7%	21.4%	0.8%	0.6%	2.9%	0.82	0.92
Q9.学生の理解度の把握	199	186	111	2	3	17	4.1	4.0
	38.4%	35.9%	21.4%	0.4%	0.6%	3.3%	0.82	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	217	191	95	4	2	9	4.2	4.1
	41.9%	36.9%	18.3%	0.8%	0.4%	1.7%	0.80	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	179	172	136	9	3	19	4.0	4.1
	34.6%	33.2%	26.3%	1.7%	0.6%	3.7%	0.87	0.90
Q12.質問に対する対応	196	181	105	4	2	30	4.2	4.1
	37.8%	34.9%	20.3%	0.8%	0.4%	5.8%	0.81	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	162	183	131	5	2	35	4.0	4.0
	31.3%	35.3%	25.3%	1.0%	0.4%	6.8%	0.83	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	173	176	120	6	4	39	4.1	4.0
	33.4%	34.0%	23.2%	1.2%	0.8%	7.5%	0.86	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	181	183	121	9	3	21	4.1	4.0
	34.9%	35.3%	23.4%	1.7%	0.6%	4.1%	0.86	0.93
Q16.授業内容の理解度	165	196	135	6	6	10	4.0	3.9
	31.9%	37.8%	26.1%	1.2%	1.2%	1.9%	0.86	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	189	169	108	4	2	46	4.1	4.1
	36.5%	32.6%	20.8%	0.8%	0.4%	8.9%	0.83	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	183	194	111	11	3	16	4.1	4.1
	35.3%	37.5%	21.4%	2.1%	0.6%	3.1%	0.85	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	174	198	124	5	5	12	4.0	4.0
	33.6%	38.2%	23.9%	1.0%	1.0%	2.3%	0.85	0.95
Q20.授業の満足度	215	186	100	5	4	8	4.2	4.1
	41.5%	35.9%	19.3%	1.0%	0.8%	1.5%	0.83	0.94



自由記述を見ると、良かった点としては、「課題をしっかり採点してくれる。」「テストやレポートが、暗記力ではなく思考力を重視するものなので、大学らしい成績評価だと思った。」「学生の理解度に応じた対応。」「ディスカッションをして意見交換ができた点」などがありました。改善してほしい点としては、「遅刻者に甘すぎる。うるさく出入りされると非常に不快な上に目障りです。」「私たちには、深くて難しすぎる。」「板書がわかりにくい。質問がまとまっていなくて、何を聞いているか解らない」などがありました。

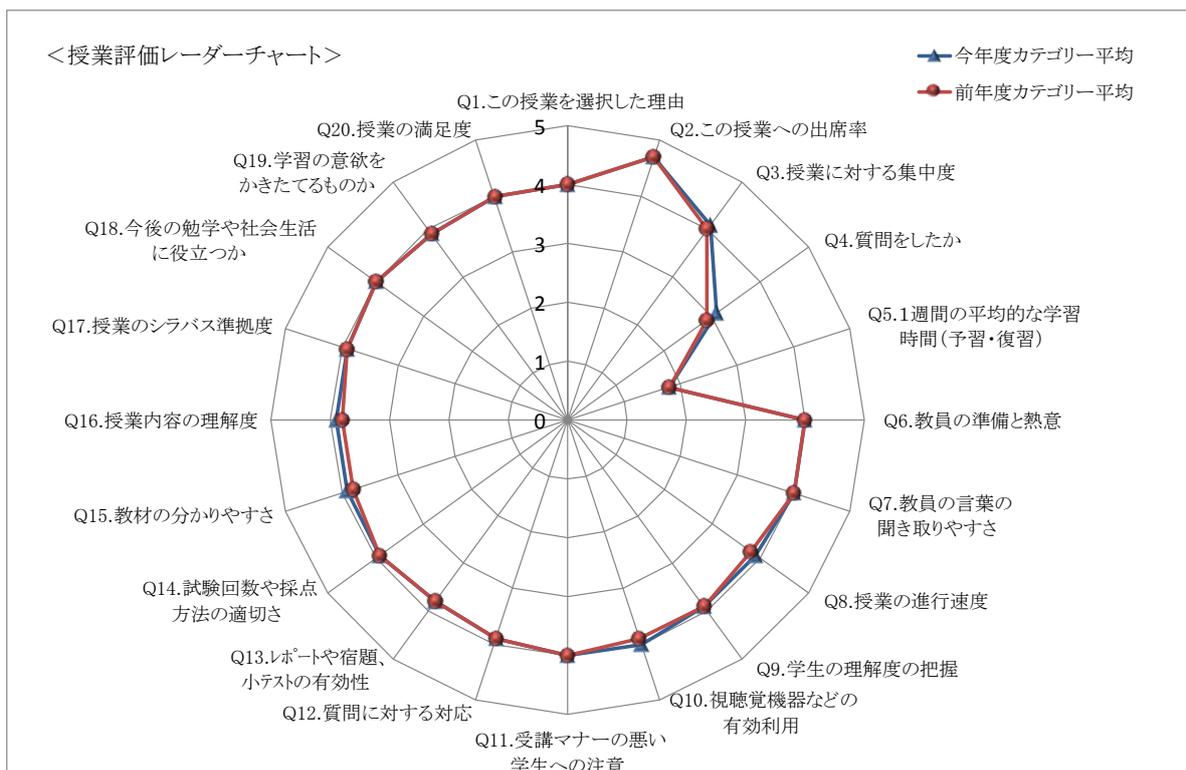
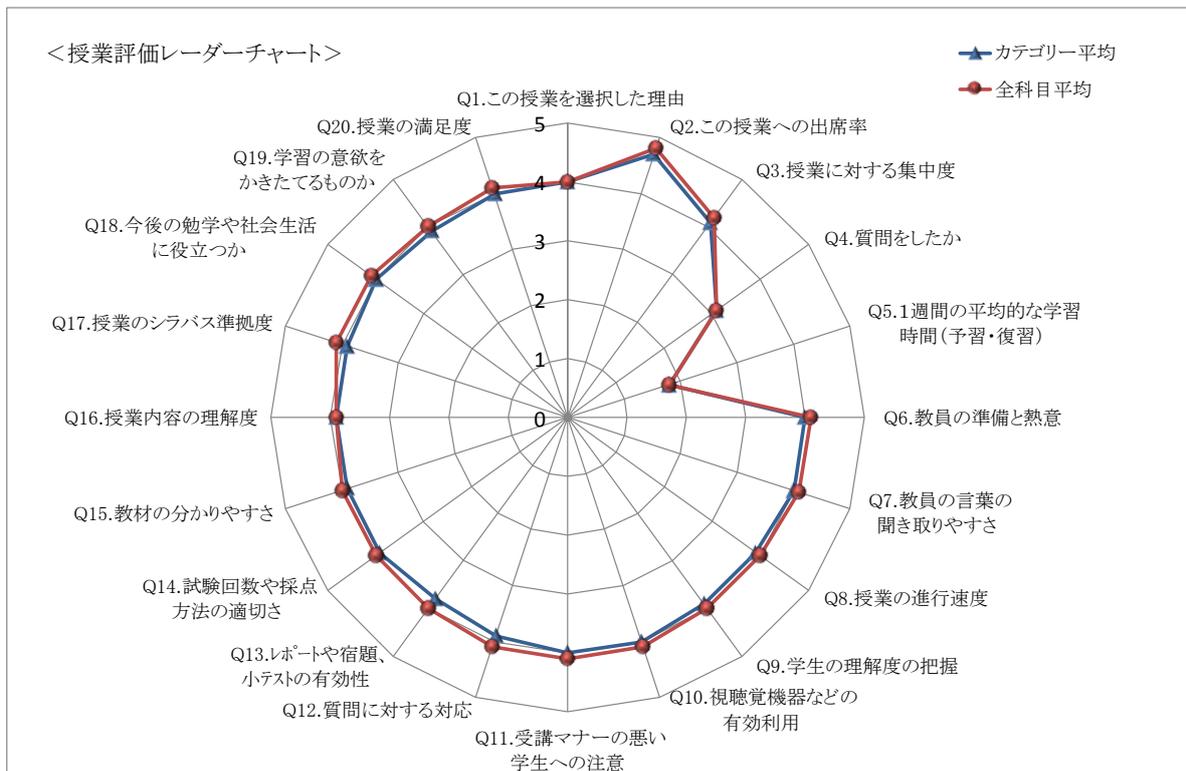
<商学科専門科目>

商学科専門科目平均と全科目平均との比較では、今期も変わらず全科目平均同様に「Q2. この授業への出席率」が非常に高く、逆に「Q5. 1週間の平均的な学習（予習・復習）」が大変低いのが特徴です。また「Q4. 質問をしたか」もQ5に次ぐ低い結果となっています。次ぎに各項目別の評価傾向を詳しく見てみると、専門科目平均が全科目平均を上回る項目はみられず、下回るのが「Q12. 質問に対する対応」と「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」で、「Q2. この授業への出席率」、「Q3. 授業に対する集中度」、「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」でも僅かに下回りました。

次に今年度の商学科専門科目平均と前年度の同科目平均の比較では、こちらも評価傾向においてほぼ昨年同様の結果となりました。項目別では「Q4. 質問をしたか」が昨年度平均を上回り、「Q8. 授業の進行速度」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q16. 授業内容の理解度」でも少しばかり上回りました。逆に昨年度平均を下回る項目はみられず、方向としては改善傾向にあるようです。

回答分布(人数と平均値・標準偏差) 上段: 平均値
下段: 標準偏差

質問内容	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	305	233	126	62	22	45	4.0	4.0
	38.5%	29.4%	15.9%	7.8%	2.8%	5.7%	1.08	1.09
Q2.この授業への出席率	609	152	17	1	4	10	4.7	4.8
	76.8%	19.2%	2.1%	0.1%	0.5%	1.3%	0.55	0.53
Q3.授業に対する集中度	241	378	128	27	5	14	4.1	4.2
	30.4%	47.7%	16.1%	3.4%	0.6%	1.8%	0.82	0.82
Q4.質問をしたか	107	171	261	85	121	48	3.1	3.1
	13.5%	21.6%	32.9%	10.7%	15.3%	6.1%	1.25	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	61	30	73	133	470	26	1.8	1.8
	7.7%	3.8%	9.2%	16.8%	59.3%	3.3%	1.24	1.30
Q6.教員の準備と熱意	251	322	181	11	6	22	4.0	4.1
	31.7%	40.6%	22.8%	1.4%	0.8%	2.8%	0.83	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	248	299	197	18	13	18	4.0	4.1
	31.3%	37.7%	24.8%	2.3%	1.6%	2.3%	0.90	0.94
Q8.授業の進行速度	204	311	227	16	12	23	3.9	4.0
	25.7%	39.2%	28.6%	2.0%	1.5%	2.9%	0.88	0.92
Q9.学生の理解度の把握	218	305	219	16	12	23	3.9	4.0
	27.5%	38.5%	27.6%	2.0%	1.5%	2.9%	0.88	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	270	247	239	8	8	21	4.0	4.1
	34.0%	31.1%	30.1%	1.0%	1.0%	2.6%	0.89	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	255	278	206	14	5	35	4.0	4.1
	32.2%	35.1%	26.0%	1.8%	0.6%	4.4%	0.86	0.90
Q12.質問に対する対応	211	303	209	13	5	52	3.9	4.1
	26.6%	38.2%	26.4%	1.6%	0.6%	6.6%	0.83	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	202	232	300	12	9	38	3.8	4.0
	25.5%	29.3%	37.8%	1.5%	1.1%	4.8%	0.89	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	237	183	289	10	7	67	3.9	4.0
	29.9%	23.1%	36.4%	1.3%	0.9%	8.4%	0.92	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	247	212	280	17	11	26	3.9	4.0
	31.1%	26.7%	35.3%	2.1%	1.4%	3.3%	0.94	0.93
Q16.授業内容の理解度	192	310	238	16	11	26	3.9	3.9
	24.2%	39.1%	30.0%	2.0%	1.4%	3.3%	0.87	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	197	219	266	5	6	100	3.9	4.1
	24.8%	27.6%	33.5%	0.6%	0.8%	12.6%	0.87	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	237	291	221	10	10	24	4.0	4.1
	29.9%	36.7%	27.9%	1.3%	1.3%	3.0%	0.87	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	218	279	242	16	14	24	3.9	4.0
	27.5%	35.2%	30.5%	2.0%	1.8%	3.0%	0.91	0.95
Q20.授業の満足度	270	274	206	11	13	19	4.0	4.1
	34.0%	34.6%	26.0%	1.4%	1.6%	2.4%	0.91	0.94



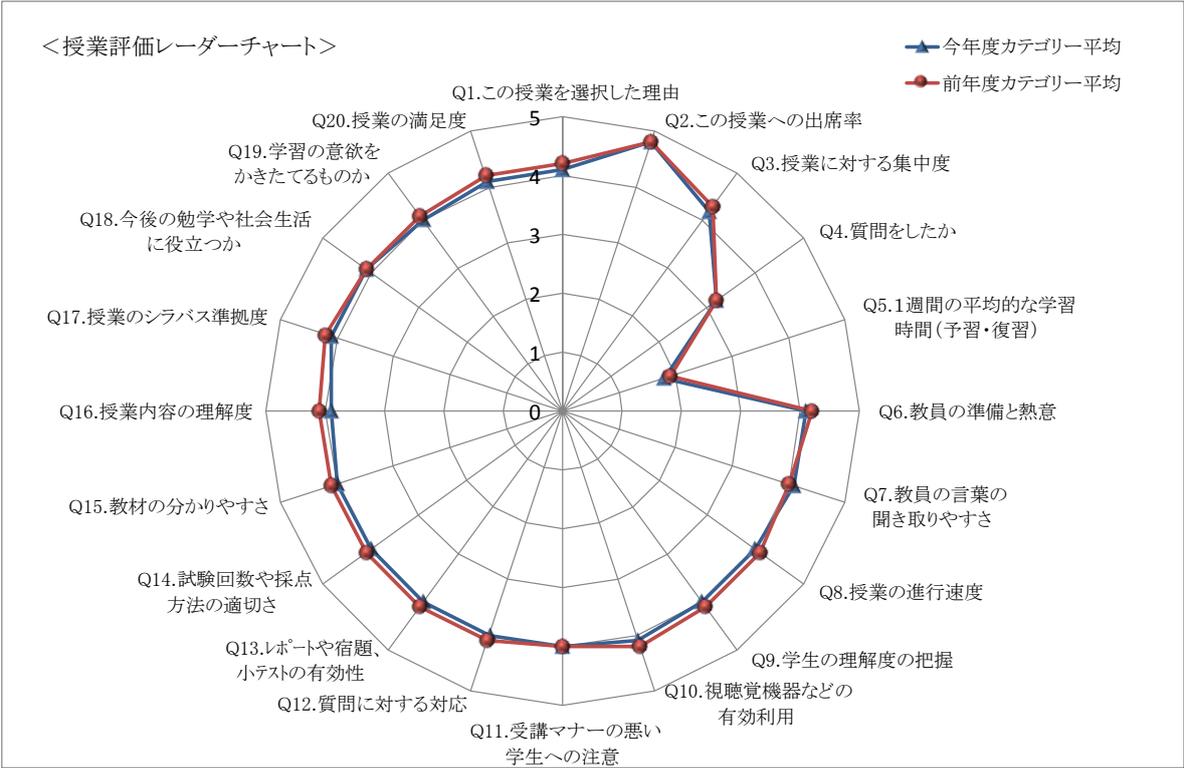
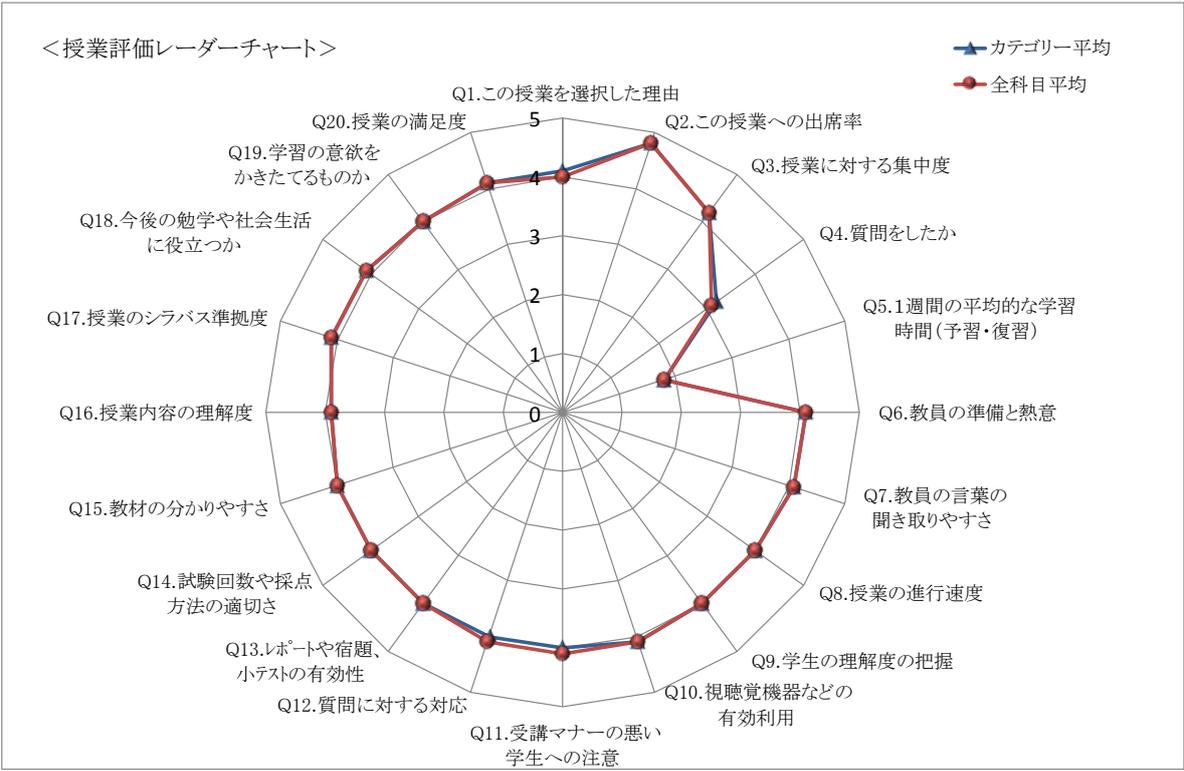
自由記述内容を見ると「授業で特に良かった点」では、パワーポイントを使った説明がわかりやすかった。配布されているプリントがわかりやすかった。普段から勉強することの大切さや、就職の知識などを教えてもらえた。GDを通じていろいろな人と仲良くなることができた。知識が身に付く。ためになる。やりがいや達成感を得られる、といった事が挙げられています。「授業で特に改善してほしい点」では、マイクを通してどなるのはやめてほしい。テストの点数を皆にみえるように配るのはどうなのでしょう。やめてほしいです。休憩の時間をとってほしい。といった要望がありました。「その他の意見・要望」は、名指し止めた方がいいと思います。もう少しはつきり話してほしい。講義で使うはずの教科書を全く使わず、別の本を買わされるのはおかしいと思いましたので、返金求めます。もし、別で買わせる本があるのなら、最初の教科書販売で買わせるべ…。プリントの印刷枚数が多いので年間200枚では足りません、といったものがありました。

<観光産業学科専門科目>

観光産業学科専門科目の各質問項目に対する授業評価は、レーダーチャートを見ると一目瞭然のように、多くの項目の平均が全体科目平均と同じです。その中で、0.1ポイント上回っているのが「Q1.この授業を選択した理由」と「Q4.質問をしたか」であり、0.1ポイント下回っているのは「Q11.受講マナーの悪い学生への注意」と「Q12.質問への対応」だけです。したがって、全科目の中でも最も平均的な評価を受けている科目の1つといえます。しかし、昨年度は多くの項目が全科目の平均を上回っていたことを考慮すると、わずかとは言え全般に評価が下がっていることを意味し、より高い評価のための改善が望まれるところです。

自由記述の回答については、良いと評価するコメント数が48件、改善を求めたコメント数が22件、その他意見・要望のコメント数が23件でした。良いと評価するコメントで目立った内容では、「ビデオが分かりやすかったこと。」や「自分でプレゼンを作成するため知識を深く得ることができる」「説明が分かりやすかった。」など、授業の進め方に高い評価が多いことです。一方、改善を求める意見では、「字をきれいに書いてください。ぜひお願いします。」など教員の板書への苦情が多かったです。なお、その他の意見・要望が23件ありました。そのうち19件がWi-Fiの設置を求めたもので、昨年同様その他の意見の大半を占める結果になりました。

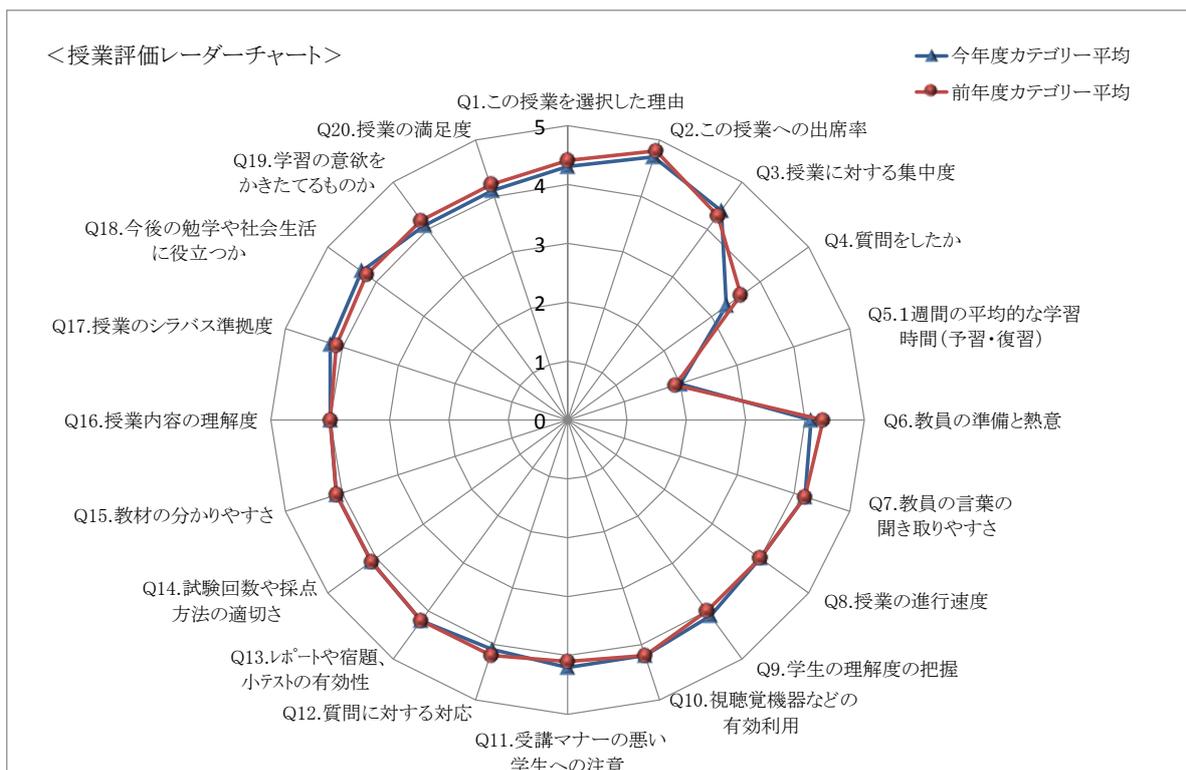
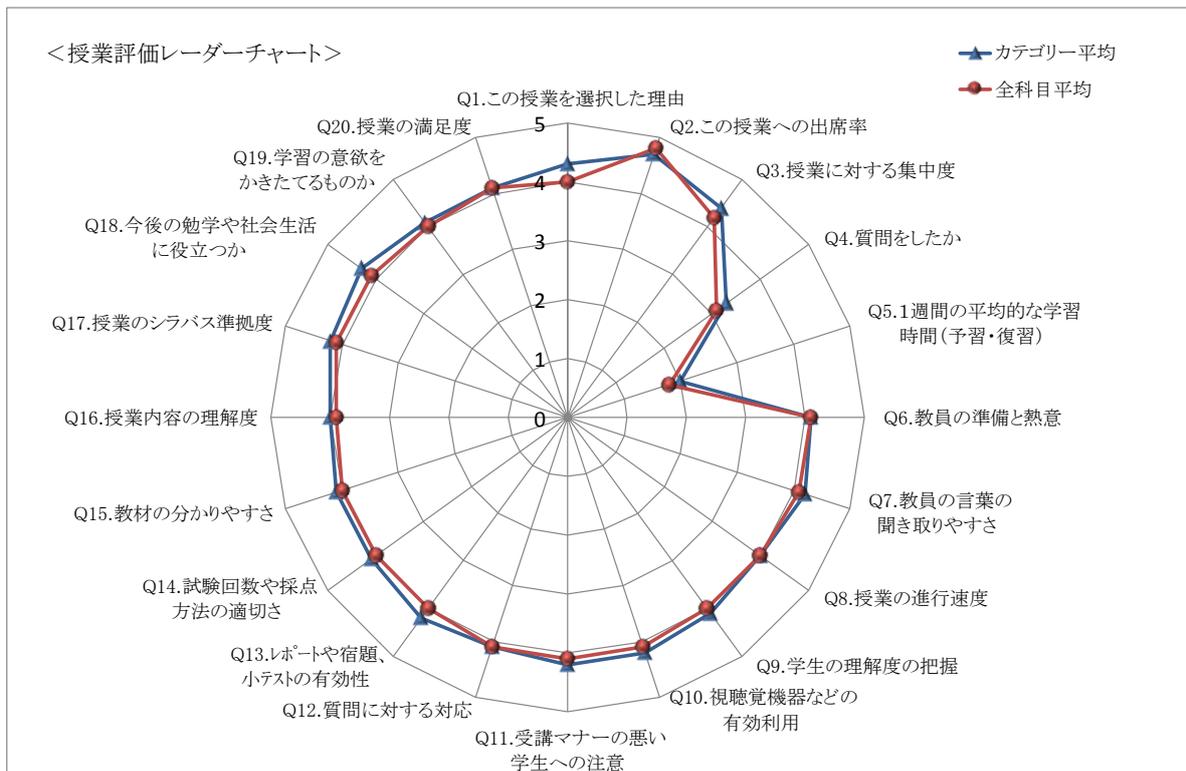
質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	177	97	70	27	11	22	4.1	4.0
	43.8%	24.0%	17.3%	6.7%	2.7%	5.4%	1.09	1.09
Q2.この授業への出席率	349	44	5	1	1	4	4.8	4.8
	86.4%	10.9%	1.2%	0.2%	0.2%	1.0%	0.45	0.53
Q3.授業に対する集中度	150	185	49	8	3	9	4.2	4.2
	37.1%	45.8%	12.1%	2.0%	0.7%	2.2%	0.78	0.82
Q4.質問をしたか	79	94	103	38	69	21	3.2	3.1
	19.6%	23.3%	25.5%	9.4%	17.1%	5.2%	1.36	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	32	17	28	64	251	12	1.8	1.8
	7.9%	4.2%	6.9%	15.8%	62.1%	3.0%	1.25	1.30
Q6.教員の準備と熱意	155	141	91	2	3	12	4.1	4.1
	38.4%	34.9%	22.5%	0.5%	0.7%	3.0%	0.84	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	145	149	88	12	3	7	4.1	4.1
	35.9%	36.9%	21.8%	3.0%	0.7%	1.7%	0.88	0.94
Q8.授業の進行速度	136	147	106	5	2	8	4.0	4.0
	33.7%	36.4%	26.2%	1.2%	0.5%	2.0%	0.84	0.92
Q9.学生の理解度の把握	131	143	107	6	3	14	4.0	4.0
	32.4%	35.4%	26.5%	1.5%	0.7%	3.5%	0.86	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	163	131	92	5	3	10	4.1	4.1
	40.3%	32.4%	22.8%	1.2%	0.7%	2.5%	0.87	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	127	131	115	7	3	21	4.0	4.1
	31.4%	32.4%	28.5%	1.7%	0.7%	5.2%	0.88	0.90
Q12.質問に対する対応	135	131	102	6	2	28	4.0	4.1
	33.4%	32.4%	25.2%	1.5%	0.5%	6.9%	0.86	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	125	123	122	5	3	26	4.0	4.0
	30.9%	30.4%	30.2%	1.2%	0.7%	6.4%	0.88	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	135	122	114	3	2	28	4.0	4.0
	33.4%	30.2%	28.2%	0.7%	0.5%	6.9%	0.86	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	132	129	119	8	5	11	4.0	4.0
	32.7%	31.9%	29.5%	2.0%	1.2%	2.7%	0.91	0.93
Q16.授業内容の理解度	124	141	114	13	3	9	3.9	3.9
	30.7%	34.9%	28.2%	3.2%	0.7%	2.2%	0.89	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	136	130	102	3	0	33	4.1	4.1
	33.7%	32.2%	25.2%	0.7%	0.0%	8.2%	0.82	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	145	135	105	2	1	16	4.1	4.1
	35.9%	33.4%	26.0%	0.5%	0.2%	4.0%	0.83	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	136	132	117	5	2	12	4.0	4.0
	33.7%	32.7%	29.0%	1.2%	0.5%	3.0%	0.86	0.95
Q20.授業の満足度	154	138	97	5	2	8	4.1	4.1
	38.1%	34.2%	24.0%	1.2%	0.5%	2.0%	0.85	0.94



<専門キャリアアップ科目>

専門キャリアアップ科目のカテゴリー平均と全科目平均の比較では、「Q1. この授業を選択した理由」と「Q3. 授業に対する集中度」、「Q4. 質問をしたか」「Q13. レポートや宿題、小テストの有効性」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」で全科目平均を上回り、「Q5. 1週間の平均的な学習（予習・復習）」、「Q7. 教員の言葉の聞き取りやすさ」、「Q9. 学生の理解度の把握」、「Q10. 視聴覚機器などの有効利用」、「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q14. 試験回数や採点方法の適切さ」、「Q15. 教材の分かりやすさ」、「Q16. 授業内容の理解度」でもカテゴリー平均を僅かばかり上回る評価となりました。「Q6. 教員の準備と熱意」、「Q8. 授業の進行速度」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」「Q20. 授業の満足度」は全科目平均並となりました。全科目平均を下回っている項目はみられませんでしたが。専門キャリアアップ科目の今年度カテゴリー平均を前年度のカテゴリー平均と比較すると、今回「Q4. 質問をしたか」次いで「Q6. 教員の準備と熱意」の下り方が目立ちます。「Q1. この授業を選択した理由」、「Q5. 1週間の平均的な学習（予習・復習）」、「Q19. 学習の意欲をかきたてるものか」、「Q20. 授業の満足度」でも昨年度を僅かに下回りました。逆に「Q11. 受講マナーの悪い学生への注意」、「Q17. 授業のシラバス準拠度」、「Q18. 今後の勉学や社会生活に役立つか」は僅かに改善しています。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	73	73	7	7	0	10	4.3	4.0
	42.9%	42.9%	4.1%	4.1%	0.0%	5.9%	0.75	1.09
Q2.この授業への出席率	133	31	4	0	1	1	4.7	4.8
	78.2%	18.2%	2.4%	0.0%	0.6%	0.6%	0.56	0.53
Q3.授業に対する集中度	80	74	15	0	0	1	4.4	4.2
	47.1%	43.5%	8.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.64	0.82
Q4.質問をしたか	29	45	61	12	20	3	3.3	3.1
	17.1%	26.5%	35.9%	7.1%	11.8%	1.8%	1.19	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	13	9	21	46	80	1	2.0	1.8
	7.6%	5.3%	12.4%	27.1%	47.1%	0.6%	1.23	1.30
Q6.教員の準備と熱意	72	58	32	4	3	1	4.1	4.1
	42.4%	34.1%	18.8%	2.4%	1.8%	0.6%	0.92	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	72	61	30	3	3	1	4.2	4.1
	42.4%	35.9%	17.6%	1.8%	1.8%	0.6%	0.90	0.94
Q8.授業の進行速度	63	59	37	3	5	3	4.0	4.0
	37.1%	34.7%	21.8%	1.8%	2.9%	1.8%	0.97	0.92
Q9.学生の理解度の把握	70	56	35	2	3	4	4.1	4.0
	41.2%	32.9%	20.6%	1.2%	1.8%	2.4%	0.91	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	73	54	36	2	2	3	4.2	4.1
	42.9%	31.8%	21.2%	1.2%	1.2%	1.8%	0.89	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	70	56	36	1	2	5	4.2	4.1
	41.2%	32.9%	21.2%	0.6%	1.2%	2.9%	0.87	0.90
Q12.質問に対する対応	65	57	34	1	2	11	4.1	4.1
	38.2%	33.5%	20.0%	0.6%	1.2%	6.5%	0.86	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	73	55	32	2	1	7	4.2	4.0
	42.9%	32.4%	18.8%	1.2%	0.6%	4.1%	0.84	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	66	63	31	3	3	4	4.1	4.0
	38.8%	37.1%	18.2%	1.8%	1.8%	2.4%	0.90	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	69	51	41	4	1	4	4.1	4.0
	40.6%	30.0%	24.1%	2.4%	0.6%	2.4%	0.90	0.93
Q16.授業内容の理解度	60	62	40	3	3	2	4.0	3.9
	35.3%	36.5%	23.5%	1.8%	1.8%	1.2%	0.91	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	65	56	34	2	1	12	4.2	4.1
	38.2%	32.9%	20.0%	1.2%	0.6%	7.1%	0.84	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	78	58	27	3	1	3	4.3	4.1
	45.9%	34.1%	15.9%	1.8%	0.6%	1.8%	0.83	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	60	61	41	2	1	5	4.1	4.0
	35.3%	35.9%	24.1%	1.2%	0.6%	2.9%	0.84	0.95
Q20.授業の満足度	69	62	27	4	5	3	4.1	4.1
	40.6%	36.5%	15.9%	2.4%	2.9%	1.8%	0.96	0.94



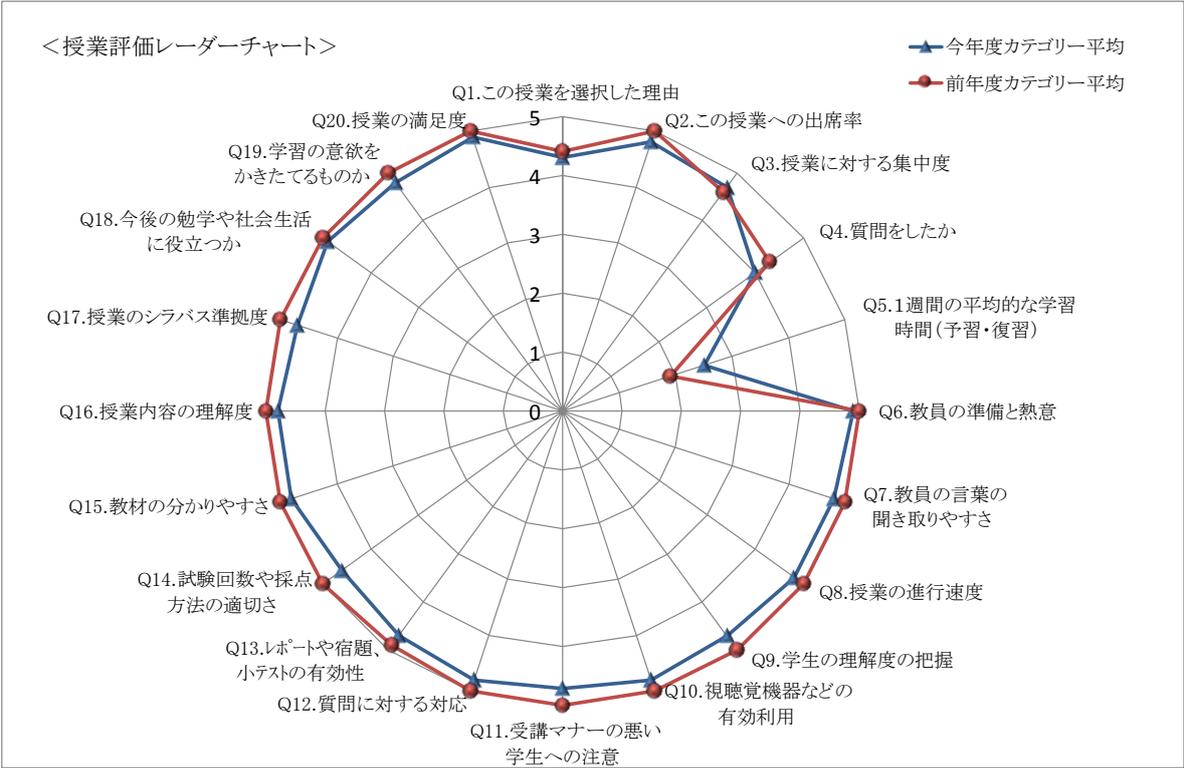
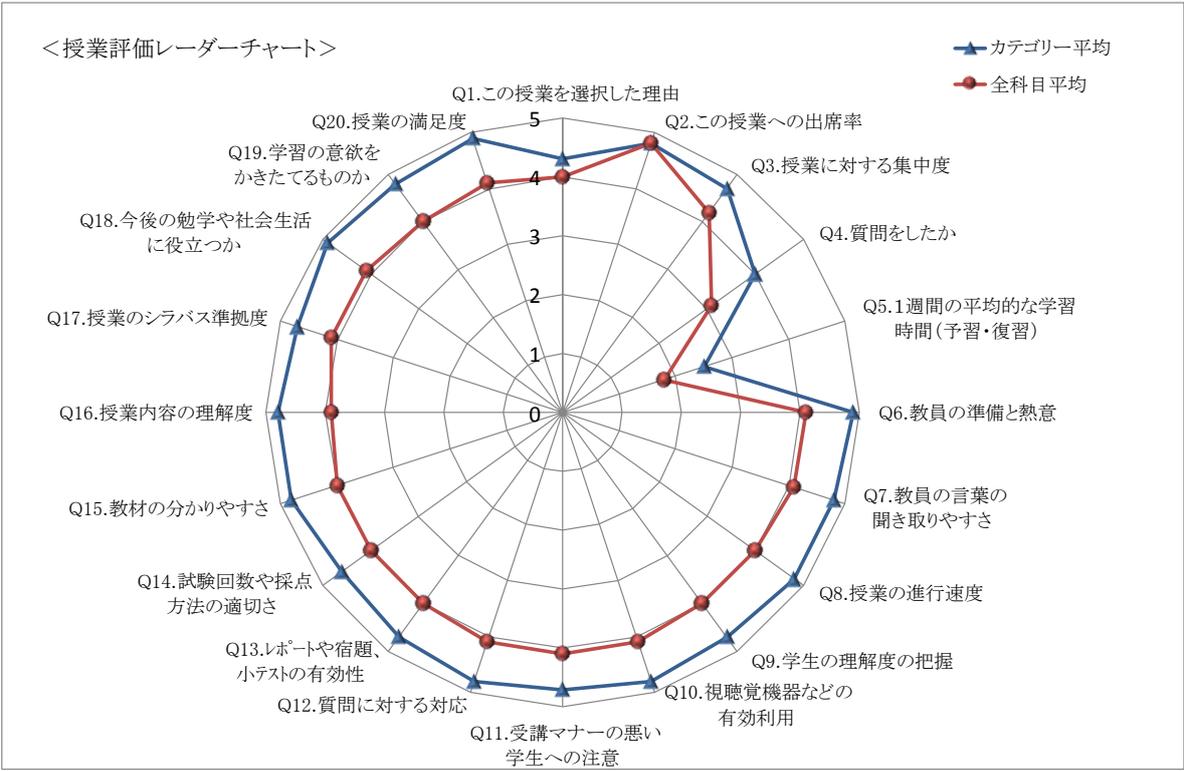
自由記述内容を見ると「授業で特に良かった点」では、コツが知れるとこと、ショートカットキーなど。分からない所を詳しく説明してくれる点。練習問題が多く、実際に話を聞くだけでなく計算などできたので理解しやすかった。日本語でも説明してくれるので、わかりやすい、といった意見が寄せられました。「授業で特に改善してほしい点」では、テンポがわるいのはやくすすんでほしい。教科書読ませるのをやめてほしい。重要な点だけ言ってほしい。生徒に読ませたらわからない。椅子が堅い、といった要望がありました。「その他の意見・要望」では、Wi-Fiを設置してほしいという意見・要望が多くありました。

<教職科目に関して>

教職科目に関する「授業評価」の全体的な傾向は、「全教科平均」と比較したレーダーチャートに示されている通り、すべての項目にわたって「全教科平均」を上回る高い評価を得ています。前年度平均と比べると、若干下がったように見られますが、ほぼすべての項目にわたり高い評価を得ていることに変わりありません。その中で、「Q5. 一週間の平均的な学習時間」の項目については前年度を上回っています。

「自由記述」では、「ゲストスピーカーを呼んでいただいた」と感謝する声や「教師に必要なことがわかった」「みんなの仲がよく、1年生とも交流できた」といった授業展開の工夫を感じさせるものが多くありました。また、「モチベーションを高めてくれる」「将来の夢に直結する」といった教員を目指す学生を後押しする授業となっていることがよくわかるものばかりでした。

質問内容	回答分布(人数と平均値・標準偏差)						上段: 平均値	下段: 標準偏差
	5	4	3	2	1	無回答	カテゴリー	全科目
Q1.この授業を選択した理由	44	13	23	0	0	0	4.3	4.0
	55.0%	16.3%	28.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.88	1.09
Q2.この授業への出席率	65	15	0	0	0	0	4.8	4.8
	81.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.39	0.53
Q3.授業に対する集中度	58	21	1	0	0	0	4.7	4.2
	72.5%	26.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.48	0.82
Q4.質問をしたか	37	18	15	4	4	2	4.0	3.1
	46.3%	22.5%	18.8%	5.0%	5.0%	2.5%	1.15	1.36
Q5.1週間の平均的な学習時間(予習・復習)	21	4	4	15	35	1	2.5	1.8
	26.3%	5.0%	5.0%	18.8%	43.8%	1.3%	1.68	1.30
Q6.教員の準備と熱意	71	8	1	0	0	0	4.9	4.1
	88.8%	10.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.37	0.88
Q7.教員の言葉の聞き取りやすさ	67	11	2	0	0	0	4.8	4.1
	83.8%	13.8%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.45	0.94
Q8.授業の進行速度	64	12	4	0	0	0	4.8	4.0
	80.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.54	0.92
Q9.学生の理解度の把握	65	9	6	0	0	0	4.7	4.0
	81.3%	11.3%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.59	0.93
Q10.視聴覚機器などの有効利用	66	10	3	0	0	1	4.8	4.1
	82.5%	12.5%	3.8%	0.0%	0.0%	1.3%	0.49	0.89
Q11.受講マナーの悪い学生への注意	55	18	4	0	0	3	4.7	4.1
	68.8%	22.5%	5.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.57	0.90
Q12.質問に対する対応	67	11	2	0	0	0	4.8	4.1
	83.8%	13.8%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.45	0.87
Q13.レポートや宿題、小テストの有効性	59	14	6	0	0	1	4.7	4.0
	73.8%	17.5%	7.5%	0.0%	0.0%	1.3%	0.61	0.91
Q14.試験回数や採点方法の適切さ	56	15	7	0	0	2	4.6	4.0
	70.0%	18.8%	8.8%	0.0%	0.0%	2.5%	0.64	0.92
Q15.教材の分かりやすさ	66	12	2	0	0	0	4.8	4.0
	82.5%	15.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.46	0.93
Q16.授業内容の理解度	65	12	3	0	0	0	4.8	3.9
	81.3%	15.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.50	0.93
Q17.授業のシラバス準拠度	60	14	4	0	0	2	4.7	4.1
	75.0%	17.5%	5.0%	0.0%	0.0%	2.5%	0.55	0.87
Q18.今後の勉学や社会生活に役立つか	72	6	1	1	0	0	4.9	4.1
	90.0%	7.5%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.47	0.90
Q19.学習の意欲をかきたてるものか	70	7	3	0	0	0	4.8	4.0
	87.5%	8.8%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.46	0.95
Q20.授業の満足度	70	8	2	0	0	0	4.9	4.1
	87.5%	10.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.42	0.94



北海商科大学 教育方法改善委員会

〒062-8607

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番

代表 (011) 841-1161